

II 和歌山県の農林水産業の動向

1 農業部門

1) 農業指標

本県の総農家数は36,531戸、うち販売農家数25,594戸である。販売農家のうち専兼別の比率は専業36.1%、1種兼業21.1%、2種兼業42.7%で2種兼業農家の比率が高まっている。(2005年「農林業センサス」結果より)

耕地面積は36,500haであり、その利用形態は水田30.7%、樹園地62.2%、普通畑7.0%である。

農業産出額は10,263千万円(構成比:米7.8% 果実59.4% 野菜15.7% 花き6.0% 畜産5.6%)

	平成17年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
総農家	戸 36,531	% 100.0	戸 7,423	戸 5,843	戸 4,489	戸 5,488	戸 6,628	戸 5,080	戸 1,580
販売農家	25,594	(100.0)	4,813	4,294	2,943	4,256	5,038	3,547	703
専業	9,250	25.3 (36.1)	1,538	1,373	917	1,731	1,902	1,478	308
1種兼	5,408	14.8 (21.1)	804	943	554	1,147	1,129	778	51
2種兼	10,936	29.9 (42.7)	2,471	1,978	1,472	1,378	2,007	1,291	335
	平成19年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
耕地面積	ha 36,500	% 100.0	ha 6,788	ha 5,857	ha 4,488	ha 6,187	ha 6,724	ha 5,419	ha 1,041
水田	11,200	30.7	2,995	2,118	1,178	619	2,217	1,415	684
樹園地	22,700	62.2 (100.0)	3,222	3,524	3,145	5,311	3,651	3,683	154
みかん	8,000	(35.2)	1,931	914	231	3,833	377	708	8
はっさく	1,200	(5.3)	107	586	75	223	168	34	3
うめ	5,610	(24.7)	124	213	221	69	2,599	2,370	13
もも	790	(3.5)	54	584	146	4	2	0	0
かき	2,920	(12.9)	288	672	1,901	37	11	9	3
普通畑	2,560	7.0	541	210	171	255	862	318	203
	平成19年		海草	那賀	伊都	有田	日高	西牟婁	東牟婁
農業産出額	千万円 10,263	% 100.0	千万円 1,820	千万円 1,805	千万円 1,112	千万円 2,156	千万円 2,067	千万円 1,148	千万円 145
米	799	7.8	242	150	76	39	162	96	34
果実	6,099	59.4	858	1,139	773	1,741	801	770	17
野菜	1,614	15.7	488	268	75	93	596	50	44
花き	618	6.0	39	96	26	68	328	49	12
畜産	572	5.6	134	χ	χ	85	χ	χ	29

※ ラウンドしているため、各数値の積上げが、合計と一致しない場合があります。

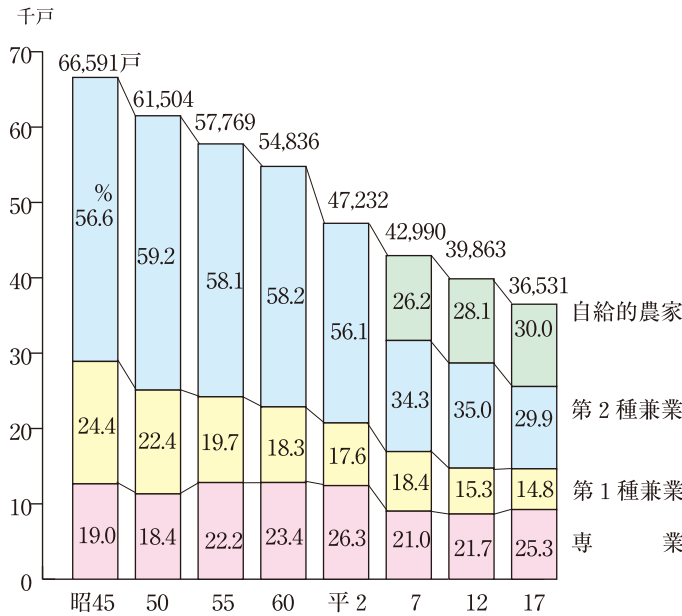
※ 「χ」は、統計法に基づく秘密保護のため、公表されていないものです。

(農林業センサス・農林水産統計年報・市町村別統計検討協議会調べ)

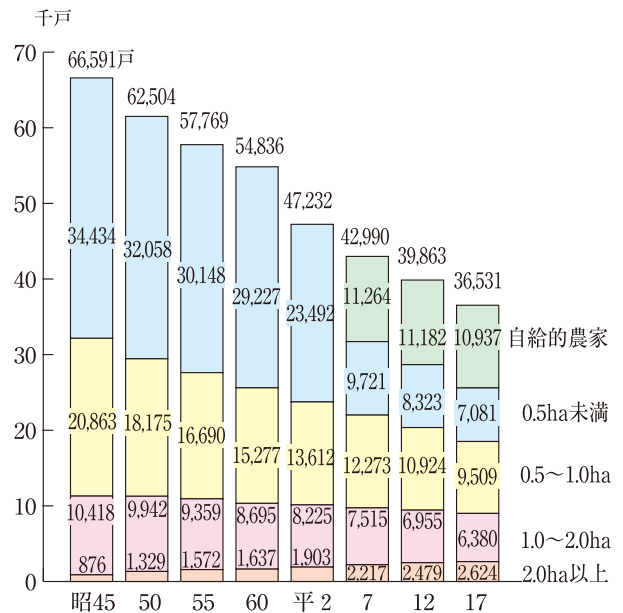
2) 農業を担う人々

平成17年の農家戸数は36,531戸で減少傾向が続いている。経営規模が1ha未満の農家が75.4%を占める。年齢別の基幹的農業従事者では60歳以上の占める割合が63.4%と増加している。平成7年以降、新規就農者数は増加傾向にある。

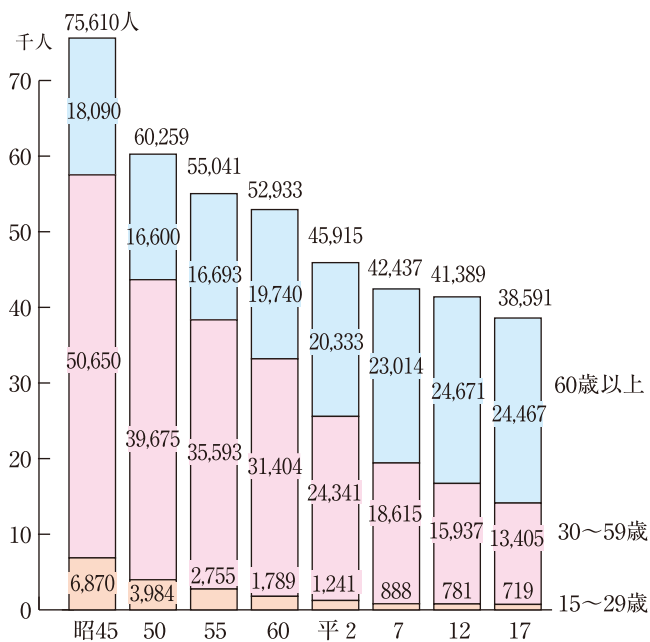
専兼業別農家数の推移



経営規模別農家数の推移



基幹的農業従事者数（年齢別）の推移

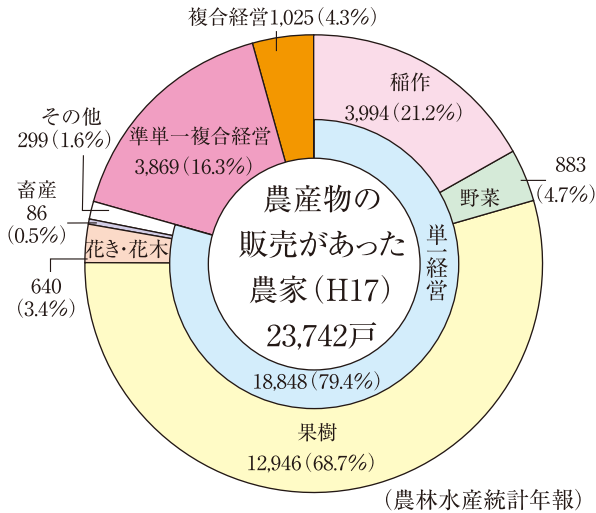


〔平17〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
総農家数	2,848,166	36,531	38	1.3	長野	茨城
販売農家数	1,963,424	25,594	36	1.3	茨城	新潟

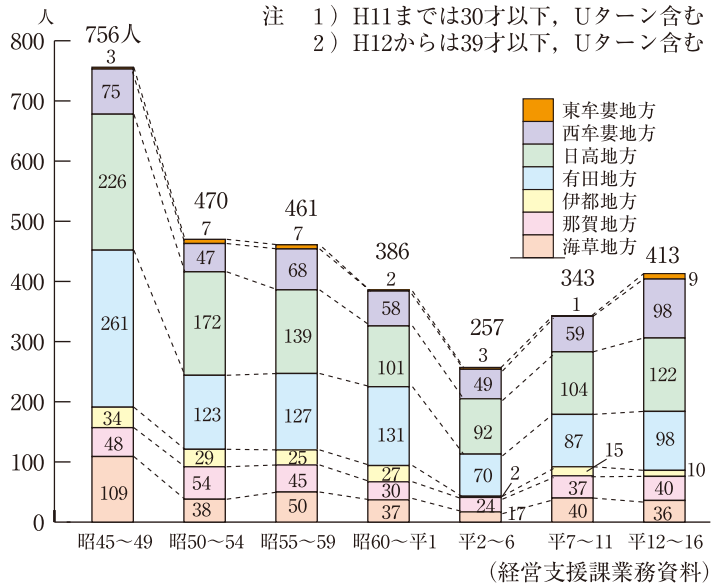
※本調査は、平成8年より調査対象が変更（総農家→販売農家）されていますので、ご利用の際は、ご注意ください。

（農林業センサス・農林水産統計年報）

農業経営組織別農家数（平成17年）



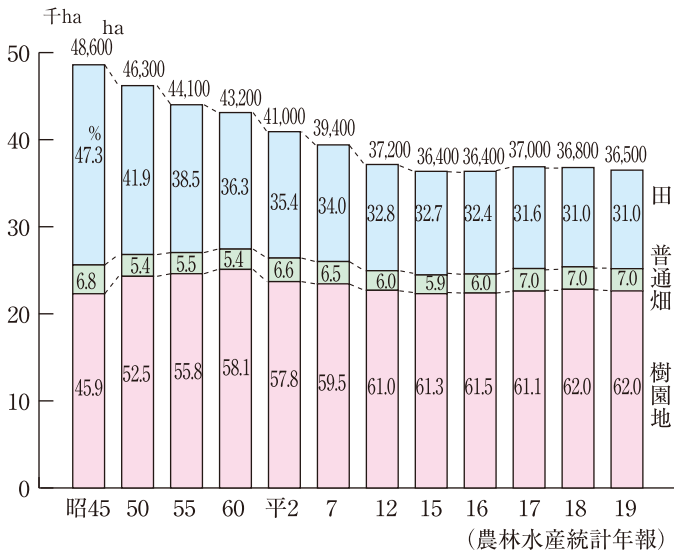
新規就農者数の推移



3) 耕地面積

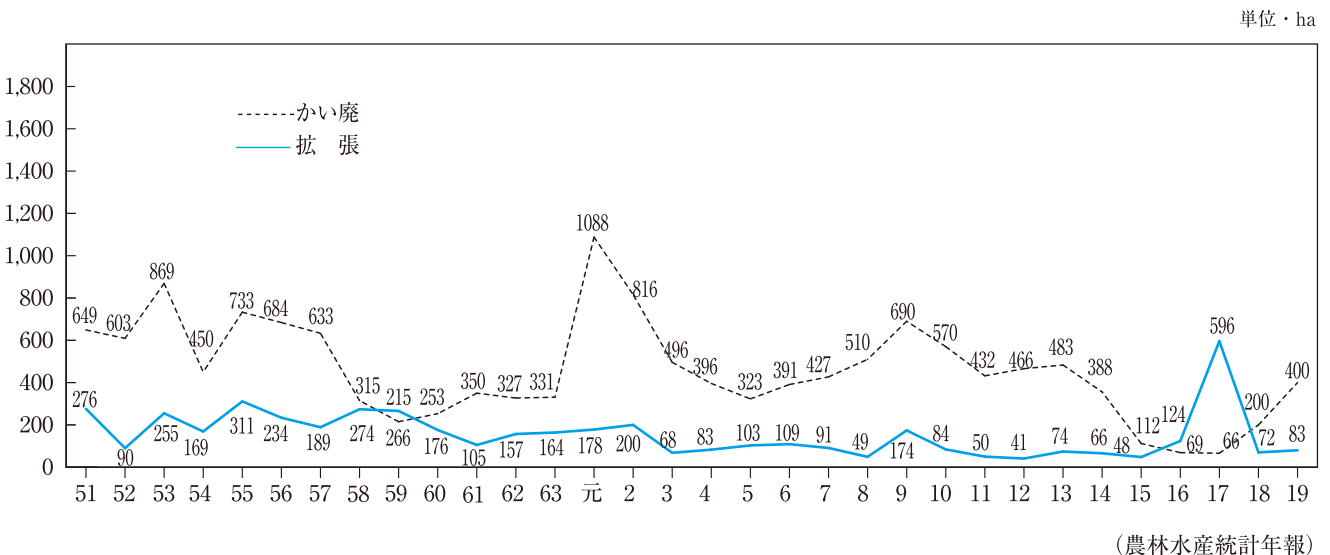
耕地面積は減少傾向にあるなかで樹園地の比率が高まっている。
施設面積は平成9年の909ha(耕地面積の2.3%)をピークに減少している。

田畑別耕地面積の推移

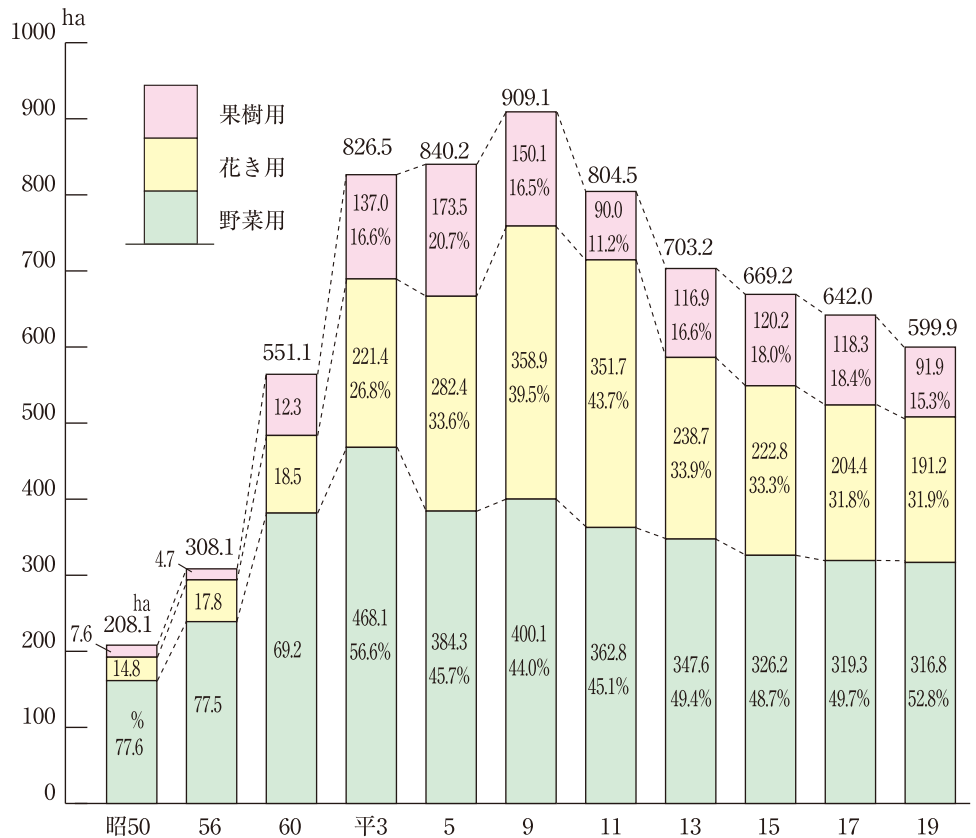


〔平19〕	全国		和歌山県		1位	2位	3位
	実数	順位	実数	シェア (%)	県名	県名	県名
耕地面積合計(ha)	4,650,000	37	36,500	0.8	北海道	茨城	新潟
田	2,530,000	42	11,200	0.4	北海道	新潟	秋田
畑	2,120,000	21	25,300	1.2	北海道	鹿児島	茨城

耕地の拡張・かい廃の推移

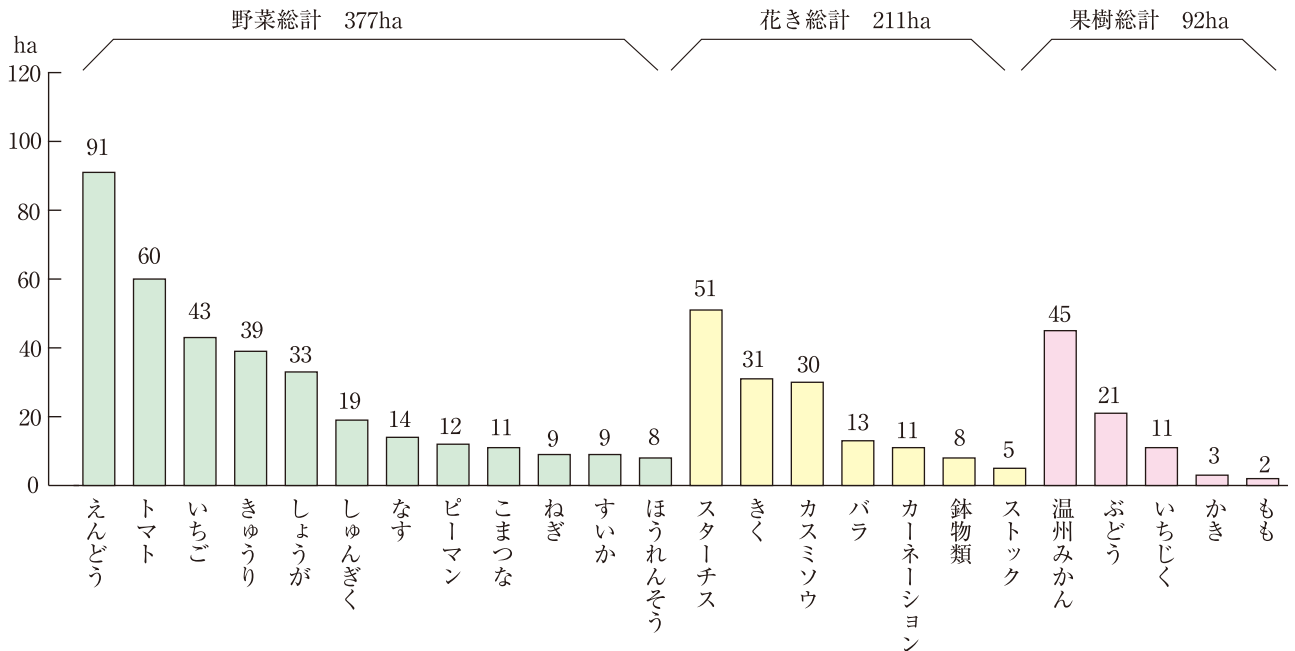


施設設置面積の推移



(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

主要品目別施設栽培延面積 (平19)



施設園芸作付延面積の推移

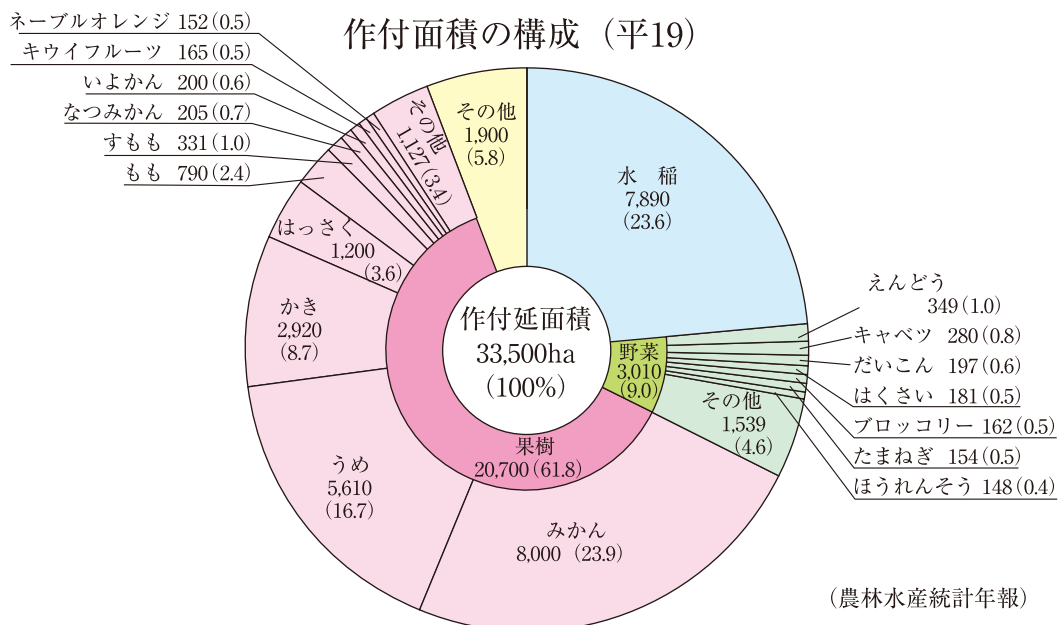
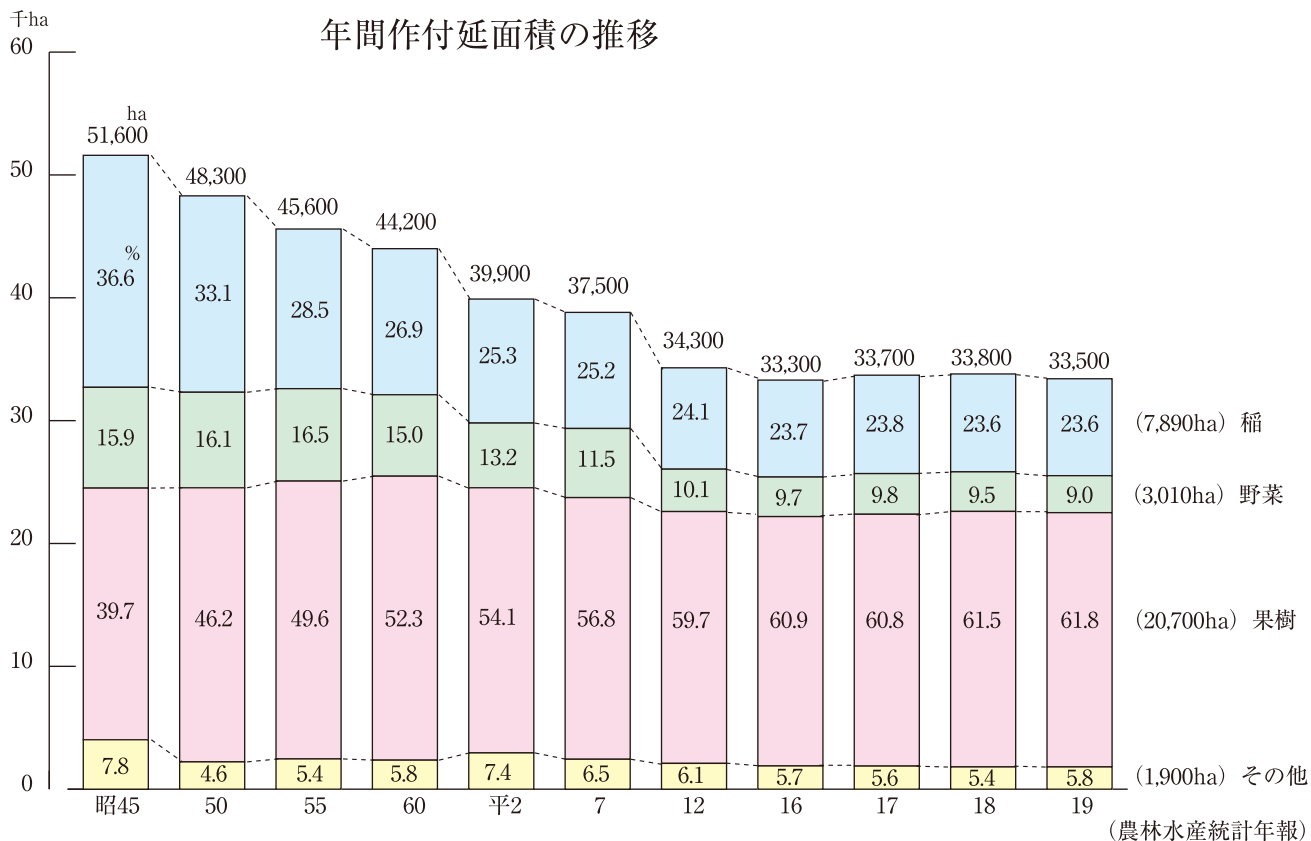
	昭50	55	60	平2	5	9	11	13	15	17	19
野菜	197	358	663	580	459	474	418	432	380	382	377
花き	35	79	180	276	353	413	362	266	210	220	211
果樹	16	15	80	137	174	150	99	117	120	118	92
合計	248	452	923	993	986	1,037	879	815	710	720	680

(園芸用ガラス室、ハウス等の設置状況調査)

4) 農業生産

年間作付け面積の構成 —— 果樹 (61.8%) ・水稲 (23.6%) ・野菜 (9.0%)

水稲、野菜の作付け面積の減少に比べ果樹の作付け面積の減少率は低く、年々果樹のウエイトが高くなっている。



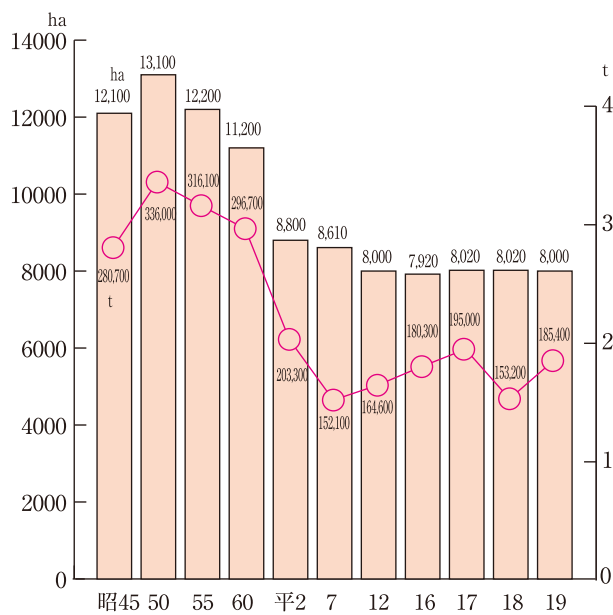
作付延面積

〔平19〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位	
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
作付延面積 (ha)	4,306,000	33,500	36	0.8	北海道	茨城	新潟
稲	1,673,000	7,890	42	0.5	新潟	北海道	秋田
野菜	555,400	3,010	42	0.5	北海道	千葉	茨城
果樹	244,710	20,700	3	8.5	青森	愛媛	和歌山

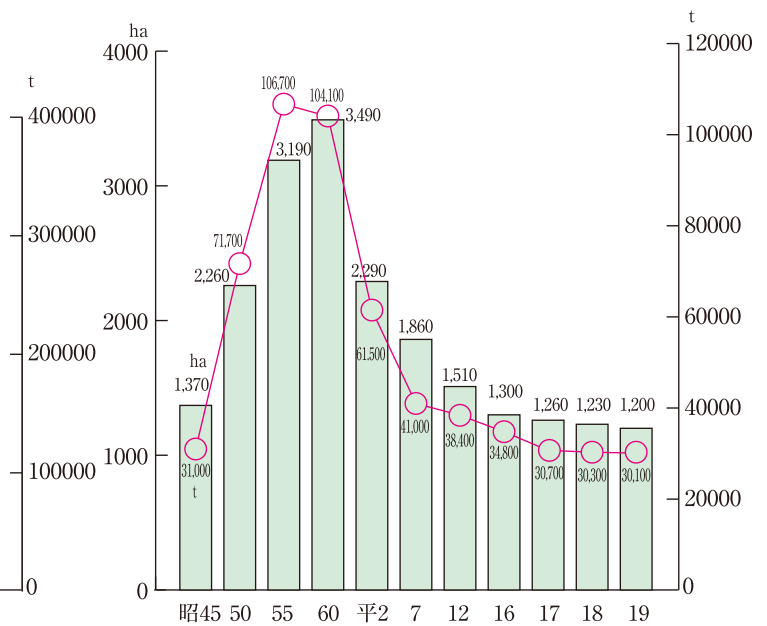
かんきつ類の栽培面積及び収穫量の推移

- みかん：みかんの生産過剰とオレンジ輸入自由化により昭和50年から平成2年にかけて栽培面積は急激に減少するが平成2年から緩やかな減少傾向となる。収穫量については平成8年以降、隔年結果が顕著になっている。
 - はっさく・ネーブルオレンジ：みかんの転換作物として昭和60年まで栽培面積は増加するが、収益性の低下により減少する。近年減少傾向がやや鈍化している。
 - いよかん：昭和60年以降、徐々に栽培面積が減少している。
- 平成19年の全国順位とシェア（栽培面積）——みかん1位（15.3%）

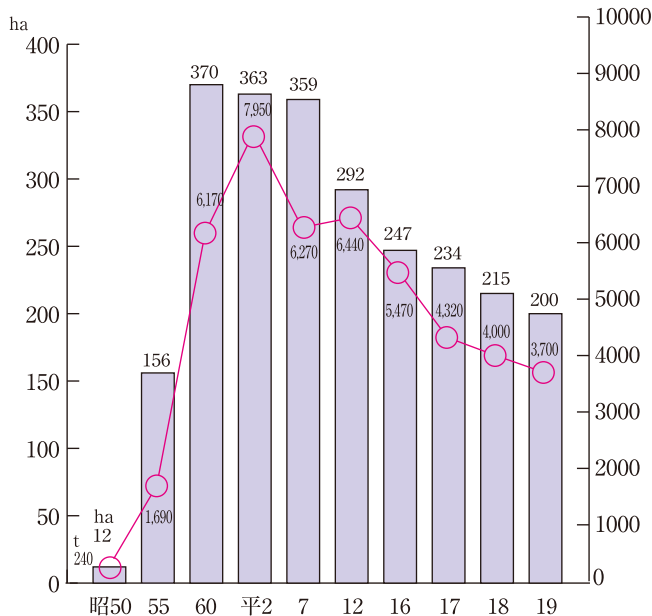
a みかん



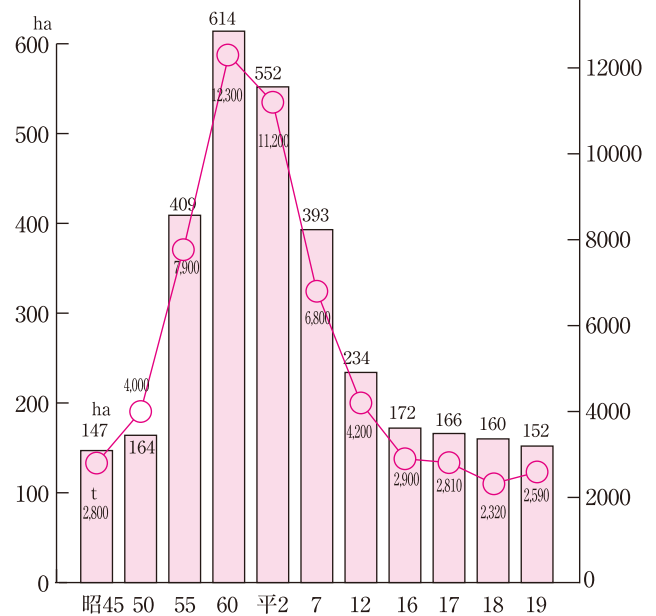
b はっさく



c いよかん



d ネーブルオレンジ

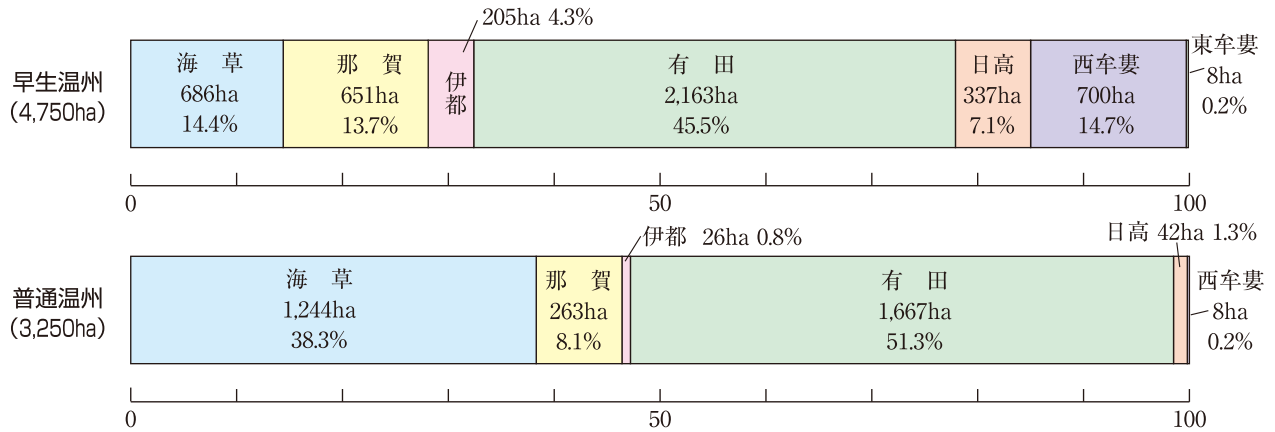


□ 栽培面積 (ha)

○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

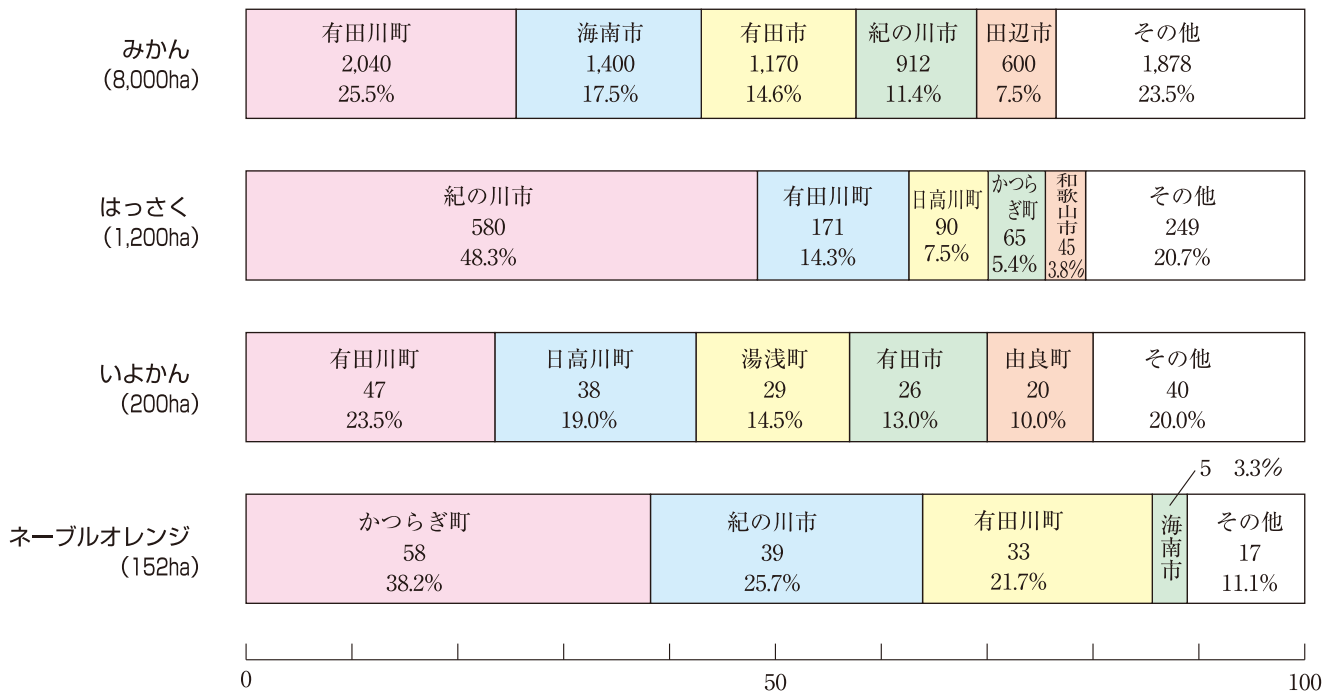
郡別・みかんの栽培面積（平19）



(市町村別統計検討協議会調べ)

市町村別・かんきつ類の栽培面積

〔上位5市町村〕（平19）



(市町村別統計検討協議会調べ)

みかんの栽培面積

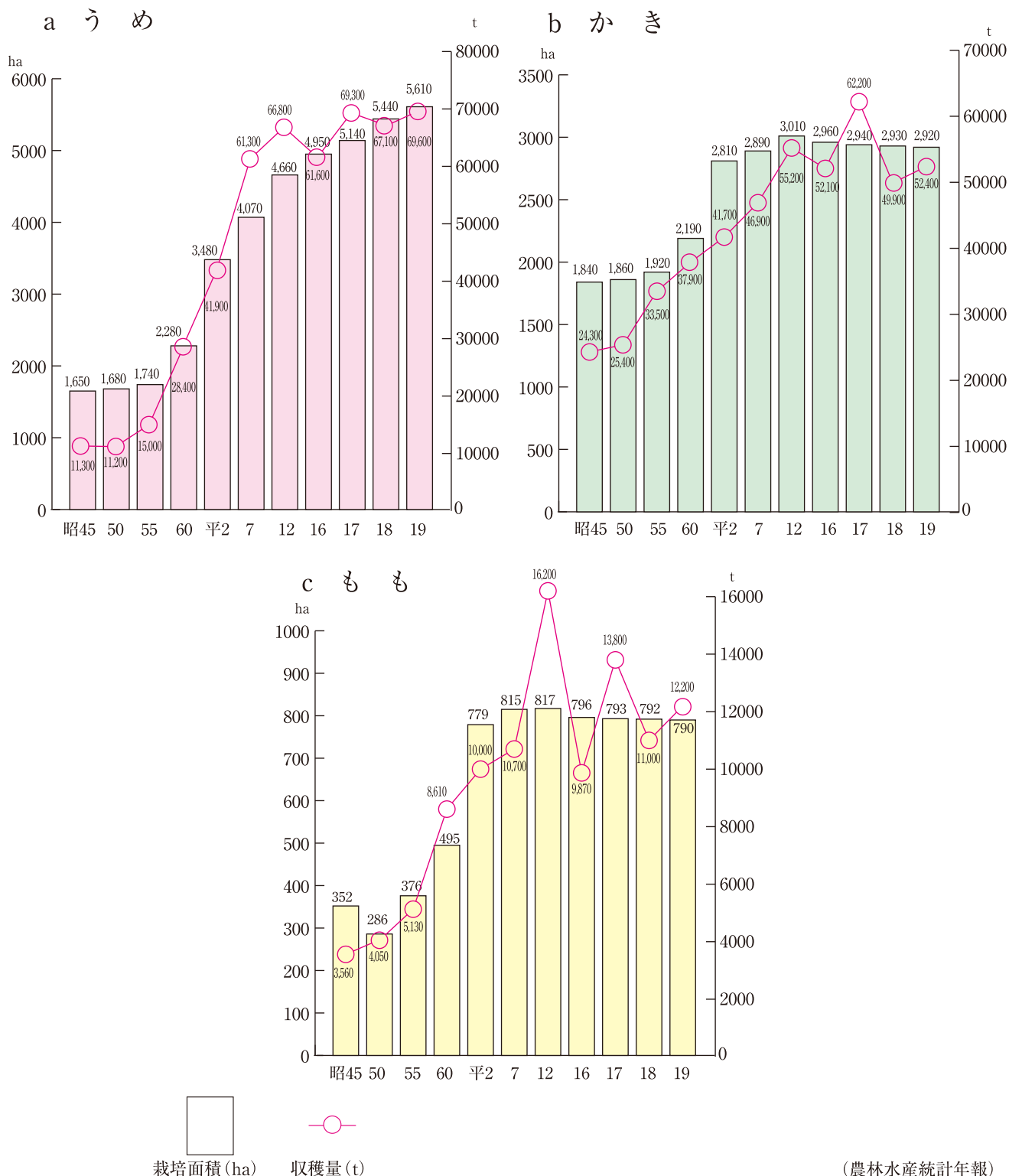
〔平19〕	全国	和歌山県		1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名
みかん	52,400	8,000	1	15.3	和歌山	愛媛 静岡

落葉果樹の栽培面積及び収穫量の推移

落葉果樹全体では、昭和55年以降みかんからの転作により栽培面積は増加傾向であったが、現在は横ばいである。

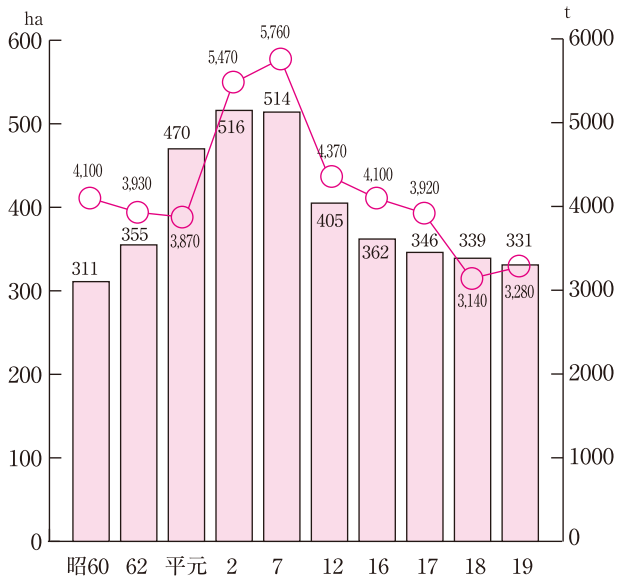
- かき・もも：昭和55年から平成2年にかけて栽培面積が急増し、それ以降は微増傾向となっている。
- うめ：昭和55年から平成7年にかけて健康食ブームと相まって栽培面積が急増し、それ以降も増加傾向である。
- すもも・キウイフルーツ：平成2年をピークに栽培面積は減少傾向、キウイは減少が著しい。

平成19年の全国順位とシェア（栽培面積）—— うめ1位（30.0%）・かき1位（12.6%）
 もも4位（7.7%）・すもも3位（10.1%）
 キウイフルーツ3位（6.8%）

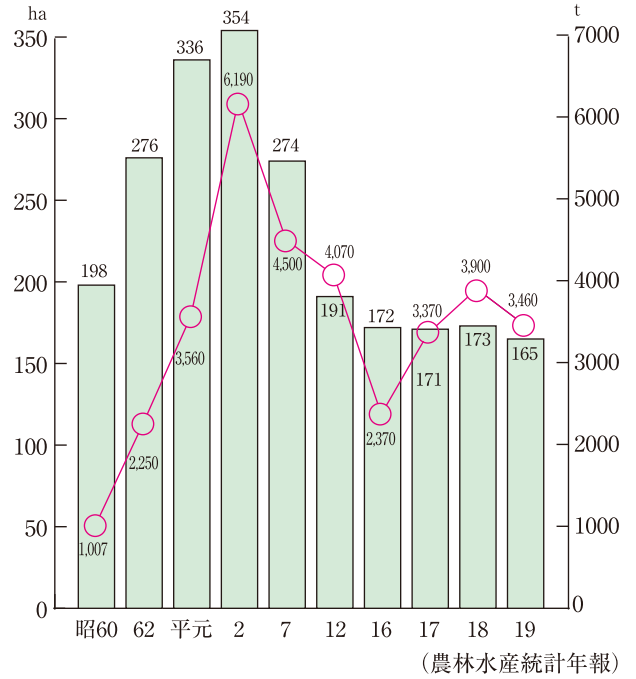


(農林水産統計年報)

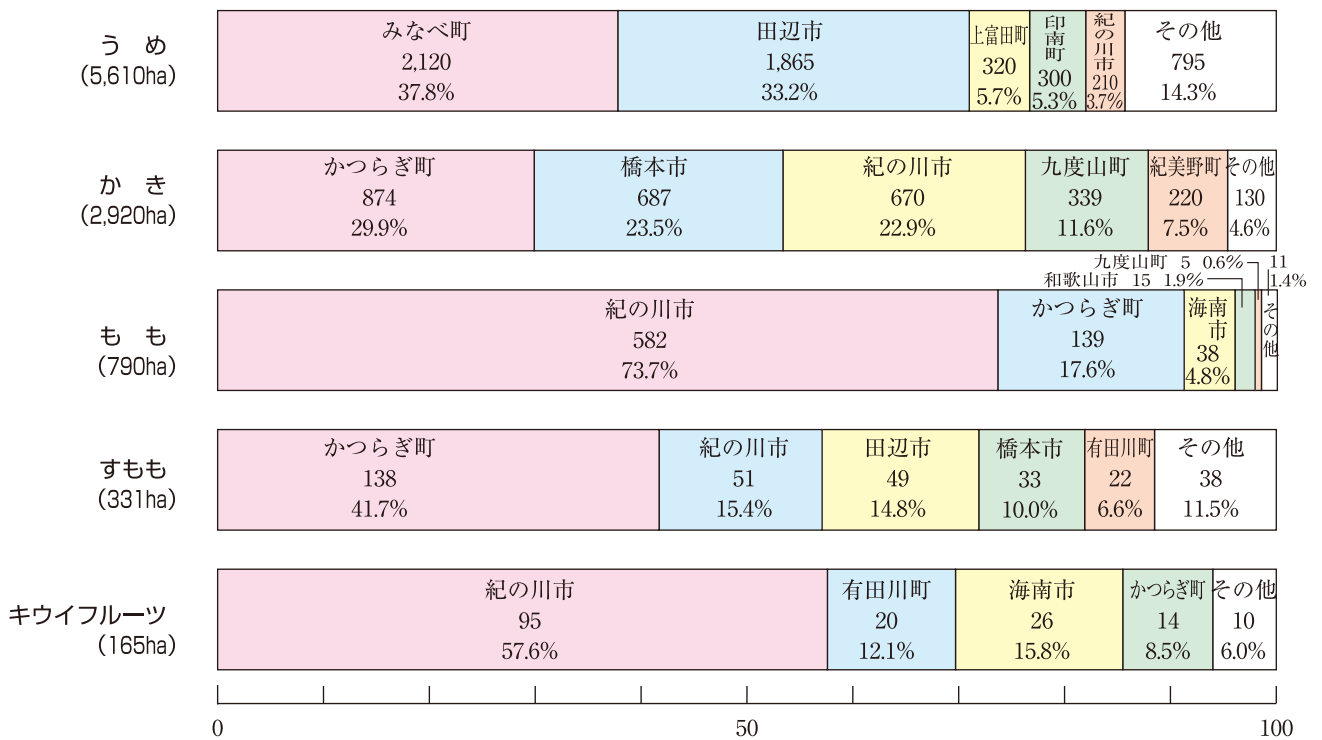
d すもも



e キウイフルーツ



市町村別・落葉果樹の栽培面積 (平19)



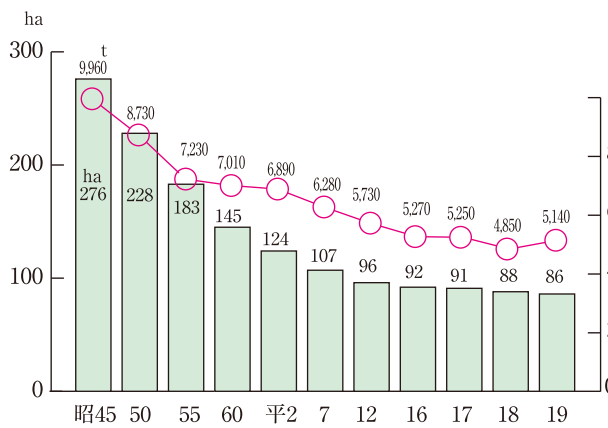
(農林水産統計年報)

栽培面積 (落葉果樹)		(ha)					
[平19]	実数	和歌山県		1位	2位	3位	
		実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
うめ	18,700	5,610	1	32.0	和歌山	群馬	長野
かき	24,300	2,920	1	12.0	和歌山	福岡	奈良
もも	11,200	790	4	7.1	山梨	福島	長野
すもも	3,260	331	3	10.2	山梨	長野	和歌山
キウイフルーツ	2,570	165	3	6.4	愛媛	福岡	和歌山

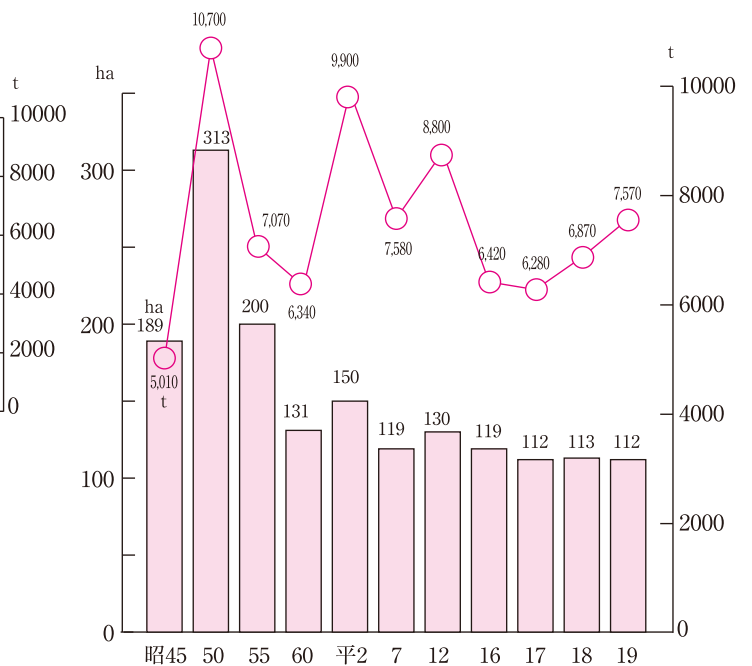
果菜類の作付面積及び収穫量の推移

栽培面積は減少傾向であるが、その傾向は近年やや鈍化している。

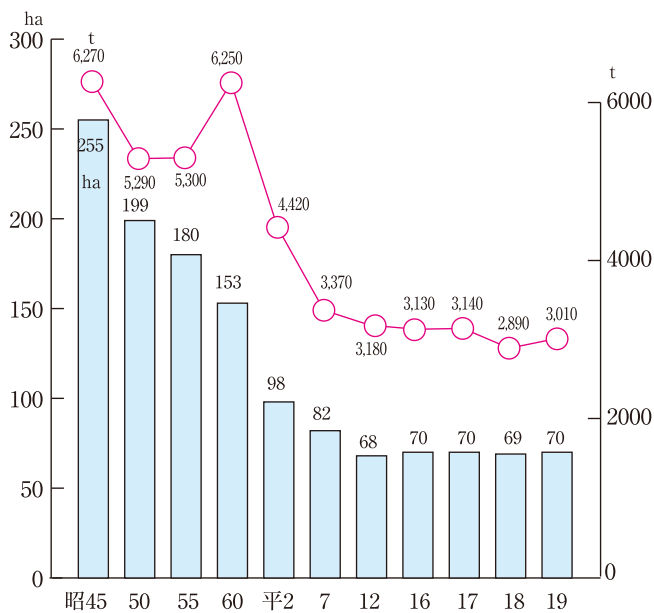
a きゅうり



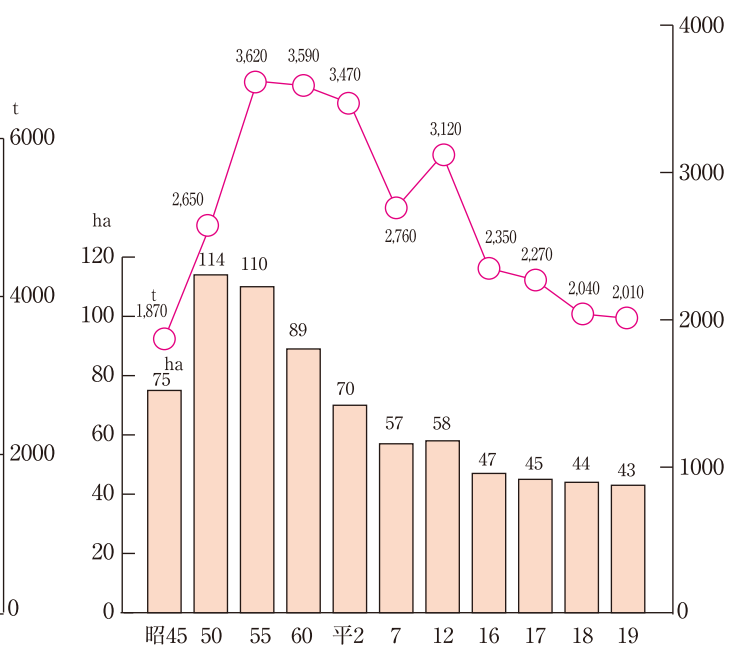
b トマト



c なす



d ピーマン

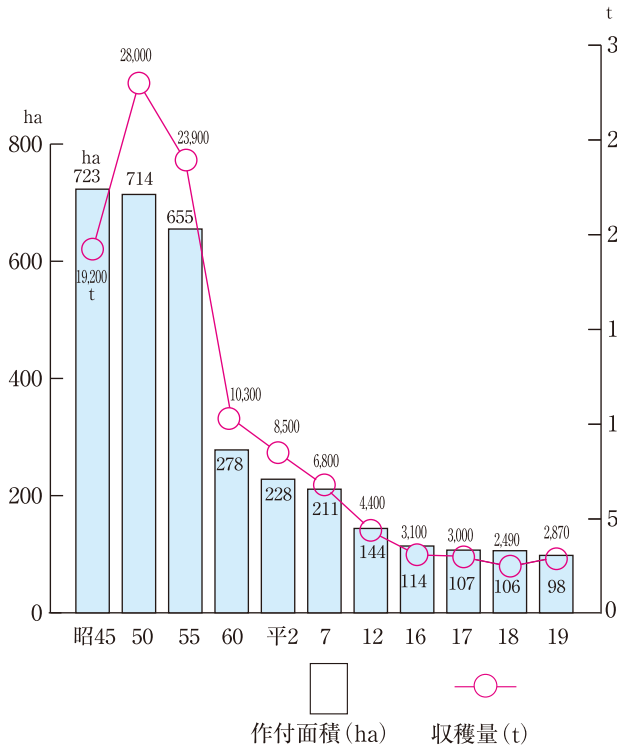


作付面積 (ha)

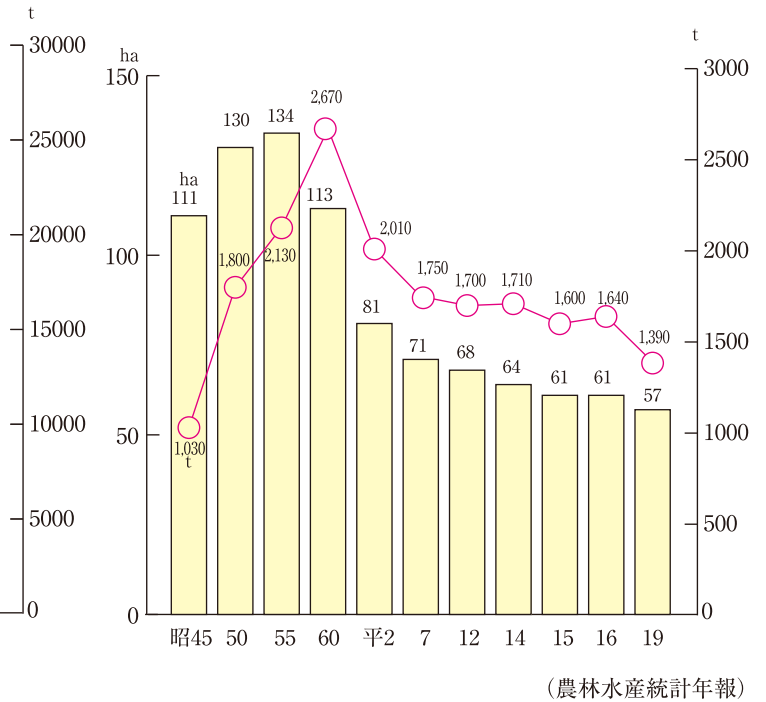
 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

e すいか



f いちご



(農林水産統計年報)

市町村別・果菜類の作付面積 (平19)

きゅうり (86ha)	紀の川市 25 (29.1%)	美浜町 11 (12.8%)	かつらぎ町 7 (8.1%)	印南町 6 (7.0%)	日高町 6 (7.0%)	その他 35 (36.0%)	
トマト (112ha)	印南町 21 (18.8%)	有田川町 15 (13.4%)	紀の川市 14 (12.5%)	日高町 13 (11.6%)	和歌山市 10 (8.9%)	御坊市 6 (5.4%)	その他 33 (29.5%)
なす (70ha)	紀の川市 12 (17.1%)	和歌山市 5 (7.1%)	日高川町 5 (7.1%)	田辺市 4 (5.7%)	その他 44 (62.9%)		
ピーマン (43ha)	和歌山市 9 (20.9%)	有田川町 7 (16.3%)	御坊市 7 (16.3%)	日高川町 3 (7.0%)	田辺市 3 (7.0%)	その他 14 (32.6%)	
すいか (98ha)	印南町 39 (39.8%)		御坊市 16 (16.3%)	紀の川市 11 (11.2%)	和歌山市 7 (7.1%)	その他 25 (25.5%)	
いちご (61ha)	打田町 16 (26.2%)	貴志川町 7 (11.5%)	粉河町 4 (6.6%)	御坊市 3 (4.9%)	湯浅町 3 (4.9%)	みなべ町 3 (4.9%)	その他 25 (41.0%)

※いちごの数値は平成16年 (農林水産統計年報)

(市町村別統計検討協議会調べ)

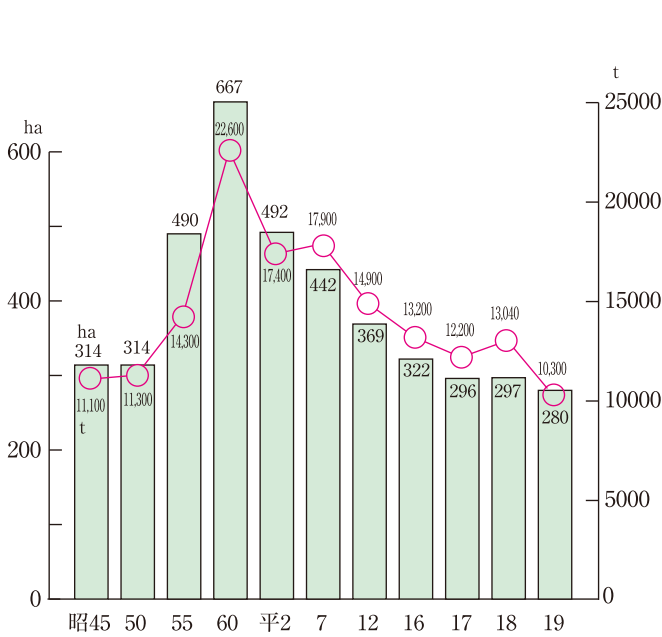
〔平19〕	作付面積 (果菜類) (ha)						
	全国実数	和歌山実数	和歌山順位	シェア(%)	1位県名	2位県名	3位県名
きゅうり	12,800	86	39	0.7	群馬	福島	宮崎
トマト	12,700	112	36	0.9	熊本	茨城	千葉
なす	10,800	70	44	0.6	新潟	群馬	山形
ピーマン	3,500	43	27	1.2	茨城	宮崎	岩手
すいか	12,600	98	29	0.8	熊本	千葉	山形
いちご	6,580	57	33	0.9	栃木	福岡	熊本

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

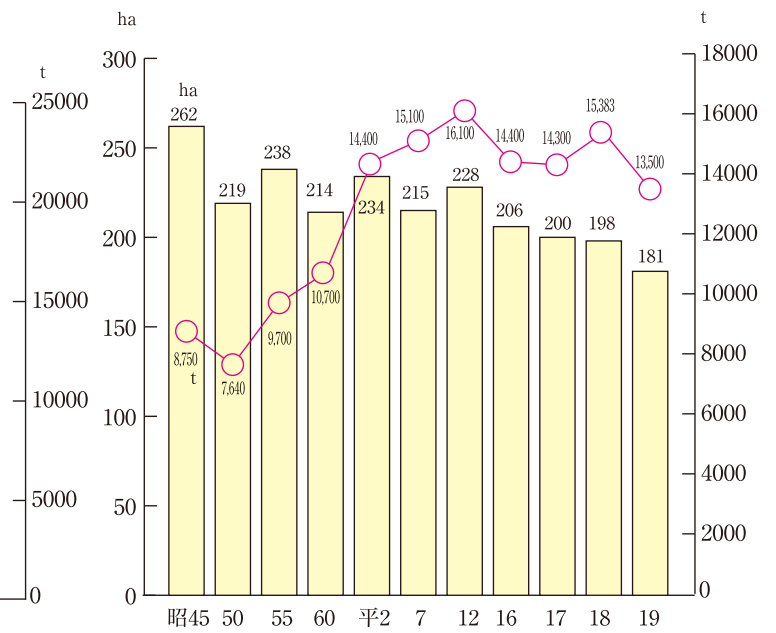
葉茎菜類の作付面積及び収穫量の推移

- たまねぎ・レタス・キャベツ・はくさい：近年、栽培面積、収穫量ともに微減傾向にある。
- ほうれんそう：近年、栽培面積・収穫量とも増加傾向である。

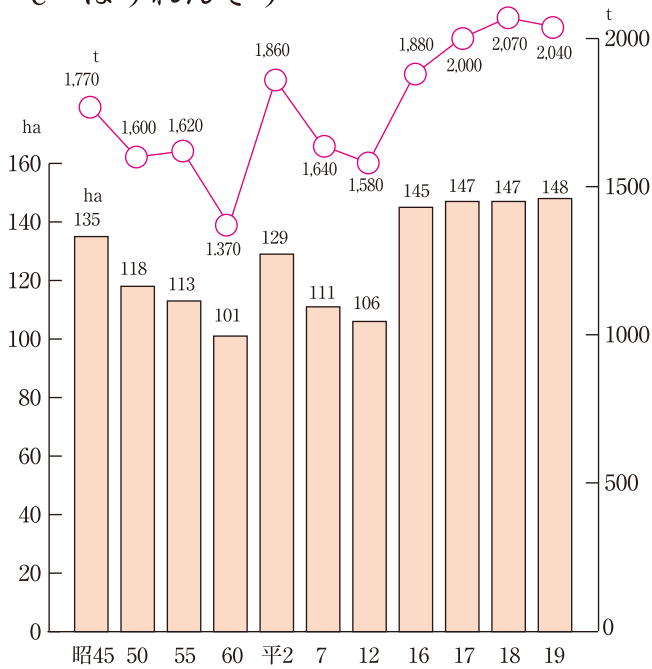
a キャベツ



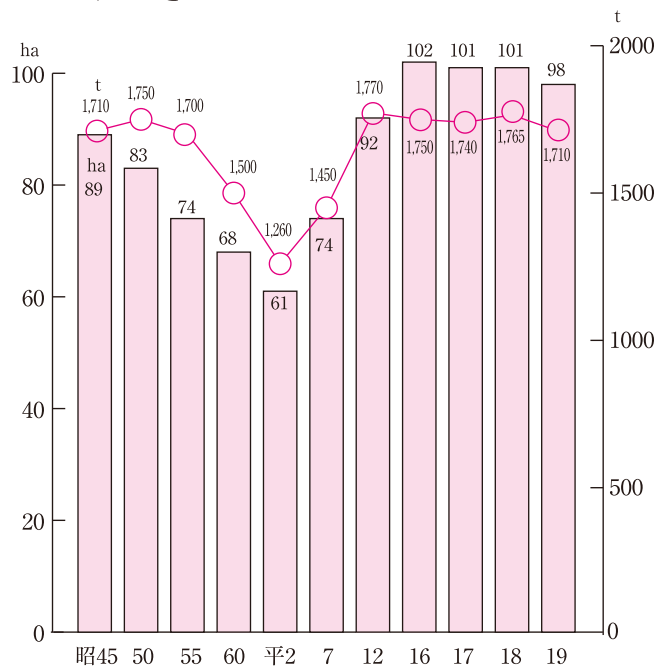
b はくさい



c ほうれんそう



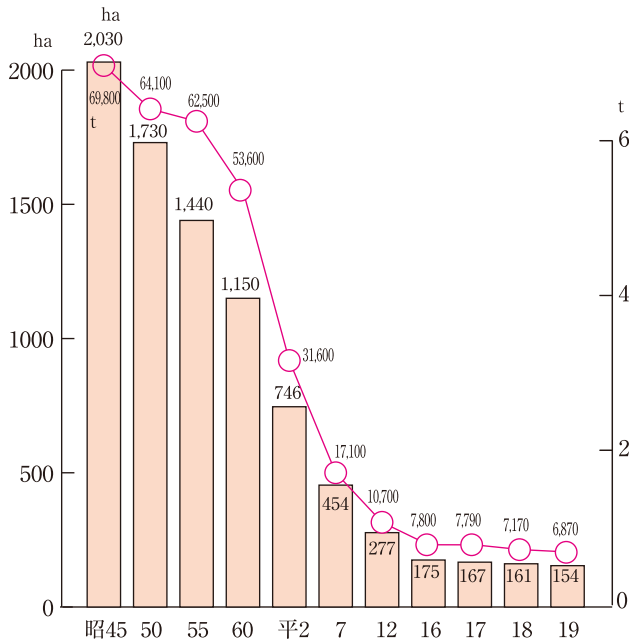
d ねぎ



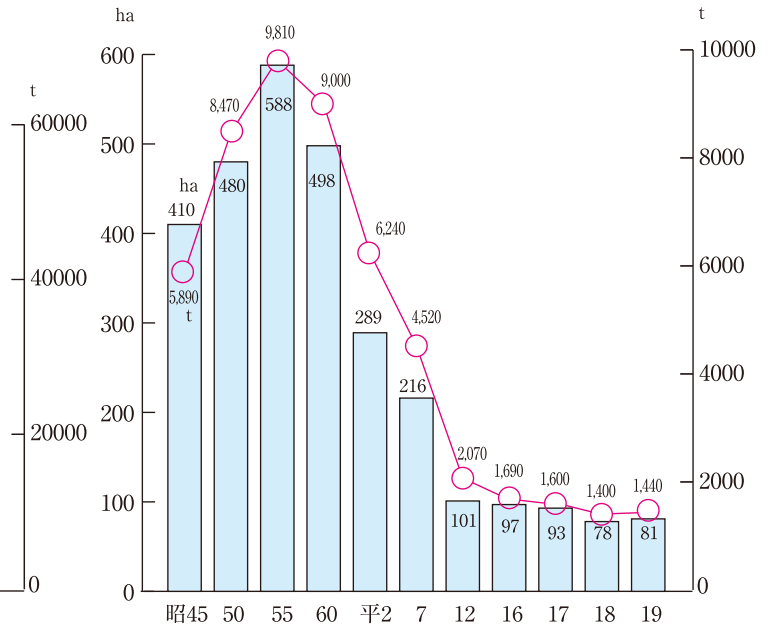
□ 作付面積 (ha) ○— 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

e たまねぎ



f レタス



(農林水産統計年報)

□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

市町村別・葉茎菜類の作付面積 (平19)

キャベツ (280ha)	和歌山市				岩出市	紀の川市	御坊市	その他
	184 65.7%				22 7.9%	18 6.4%	12 4.3%	44 15.7%

はくさい (181ha)	和歌山市		紀の川市	岩出市	御坊市	その他
	96 53.0%		14 7.7%	14 7.7%	12 6.6%	45 24.9%

たまねぎ (154ha)	紀の川市			岩出市	その他
	95 61.7%			9 5.8%	50 32.5%

冬レタス (75ha)	御坊市	白浜町	和歌山市	日高川町	上富田町	その他
	24 32.0%	15 20.0%	9 12.0%	5 6.7%	5 6.7%	17 22.7%

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

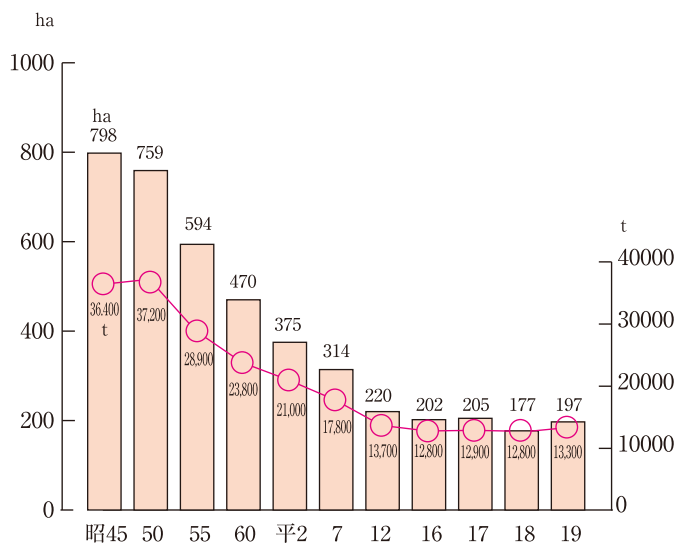
作付面積 (葉茎菜類) (ha)							
〔平19〕	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
キャベツ	32,700	280	29	0.9	愛知	群馬	千葉
はくさい	18,700	181	30	1.1	茨城	長野	北海道
ほうれんそう	22,900	148	35	0.6	千葉	埼玉	群馬
ねぎ	22,500	98	44	0.4	千葉	埼玉	茨城
たまねぎ	24,300	154	23	0.6	北海道	佐賀	兵庫
レタス	20,900	81	29	0.4	長野	茨城	兵庫

※県順位は、公表されている統計数値から作成した。「-」は不明。

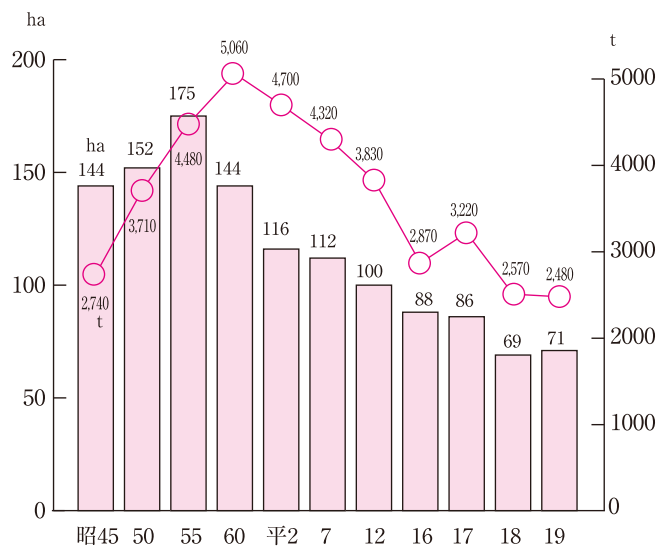
根菜類及び豆類の作付面積と収穫量の推移

- だいこん・にんじん：需要の減少により、栽培面積の減少が続いていたが、その傾向は近年やや鈍化している。
- えんどう：近年、栽培面積、収穫量ともに減少傾向である。

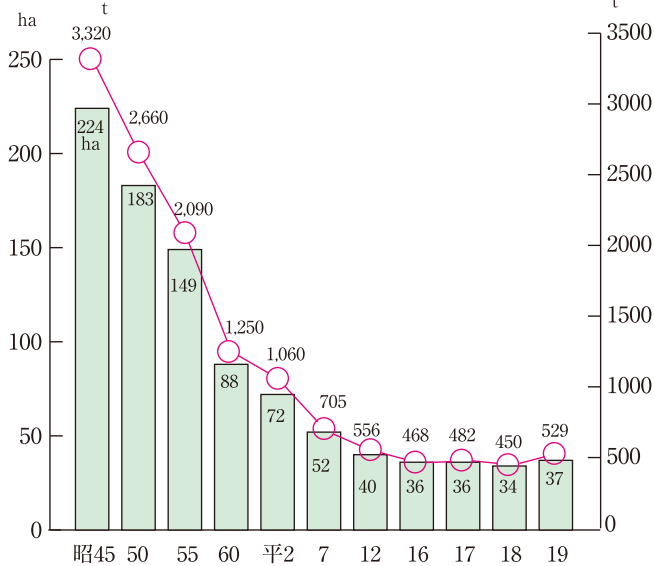
a だいこん



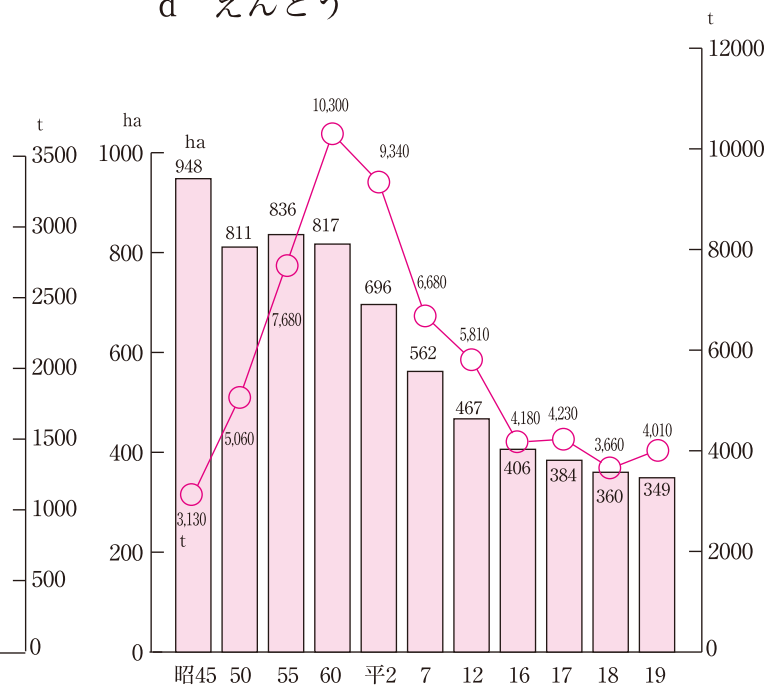
b にんじん



c さといも



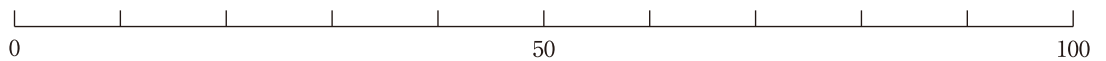
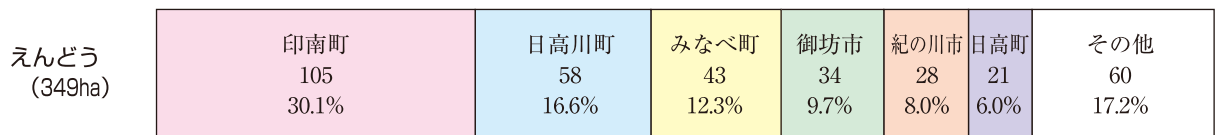
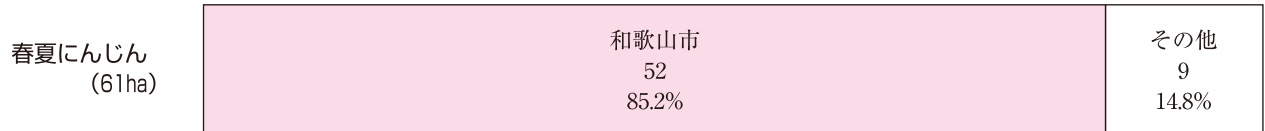
d えんどう



□ 作付面積 (ha) ○ 収穫量 (t)

(農林水産統計年報)

市町村別・根菜類及び豆類の作付面積（平19）



(市町村別統計検討協議会調べ)

作付面積（根菜類・豆類）							
〔平19〕	全国	和歌山県			1位	2位	3位
	実数	実数	順位	シェア(%)	県名	県名	県名
だいこん	37,200	197	41	0.5	北海道	青森	千葉
にんじん	19,100	71	35	0.4	北海道	千葉	青森
さといも	14,100	37	45	0.3	千葉	宮崎	埼玉
えんどう	4,370	349	3	8.0	鹿児島	福島	和歌山

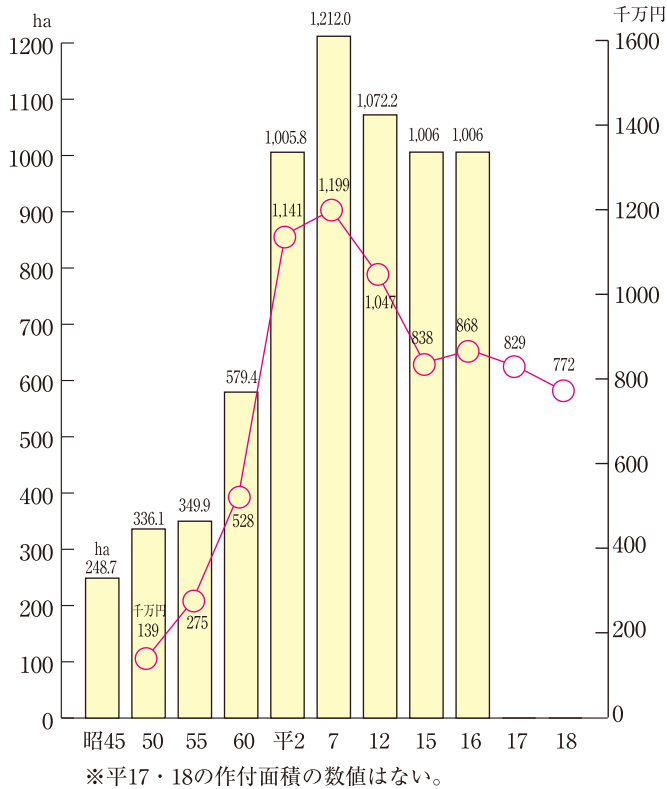
※県順位は、公表されている統計数値から作成した。

(野菜生産出荷統計)

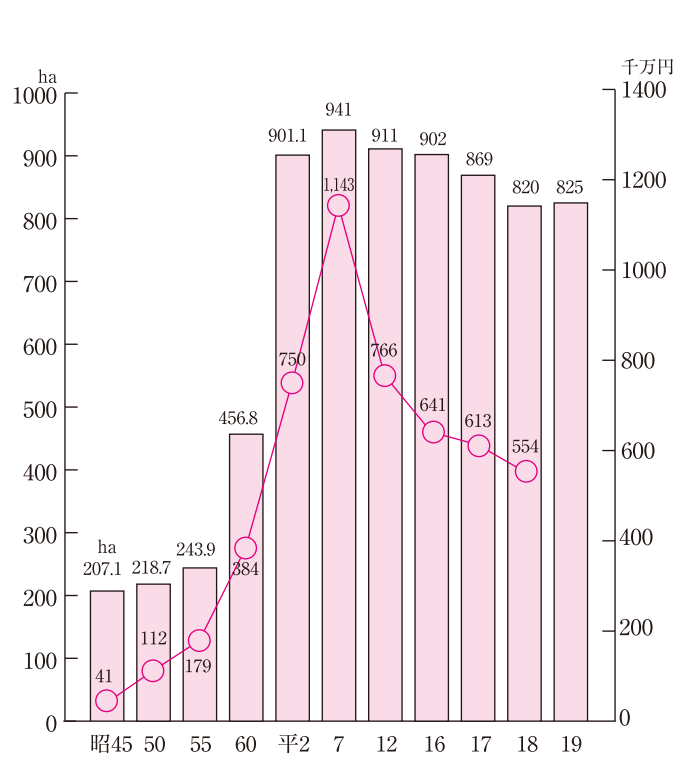
花き生産の推移

花き全体の栽培面積は昭和60年から平成2年にかけ需要の増加や野菜からの転換により急激に増加している。その後の推移は平成6年をピークに微減となっている。

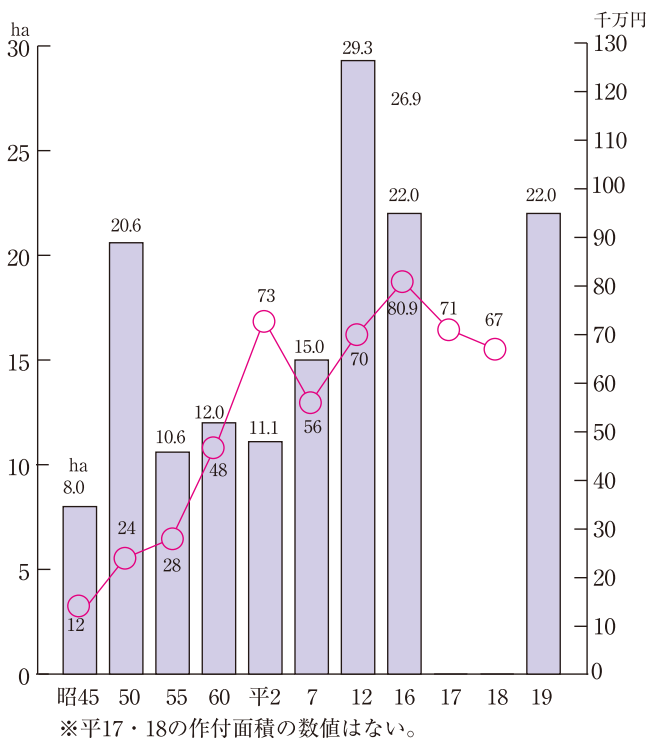
総計



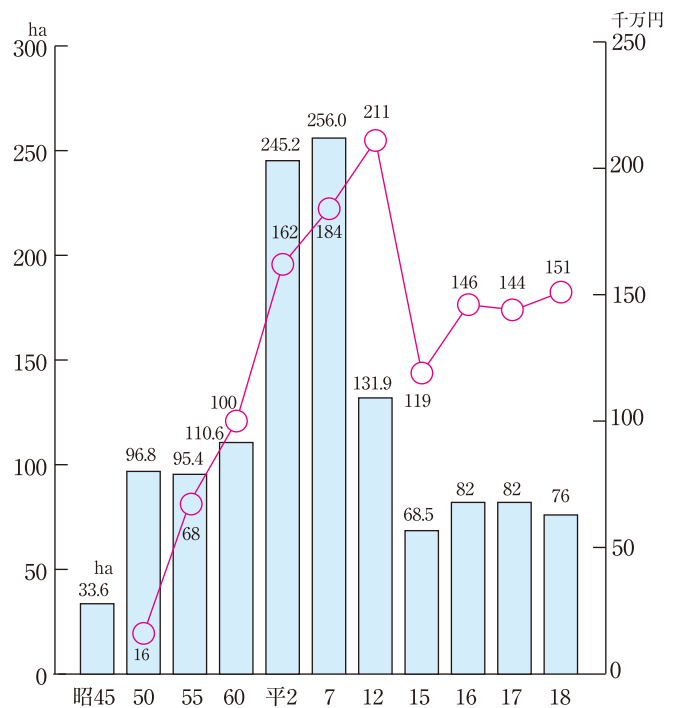
b 切花



c 鉢物・花壇苗



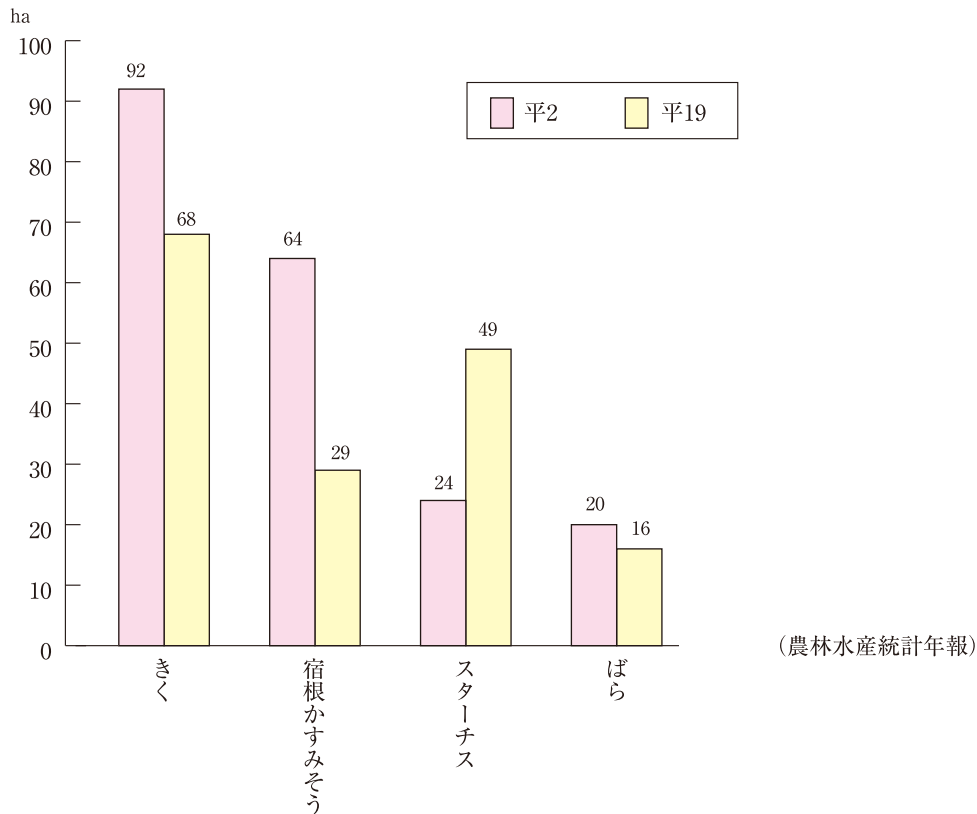
d 花木類等



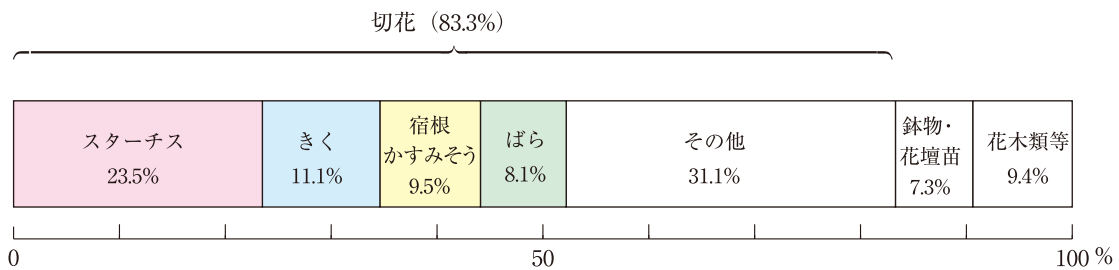
□ 作付面積 (ha) ○ 生産額 (千万円)

(農林水産統計年報)

主要切花の作付面積（平19）



花き生産額の部門別割合（平19）



〔平19〕	（億円）						
	全国 実数	和歌山 実数	和歌山 順位	和歌山 シェア(%)	1位 県名	2位 県名	3位 県名
スターチス	46	16	1	34.8	和歌山	北海道	長野
宿根かすみそう	38	7	2	18.4	熊本	和歌山	福島

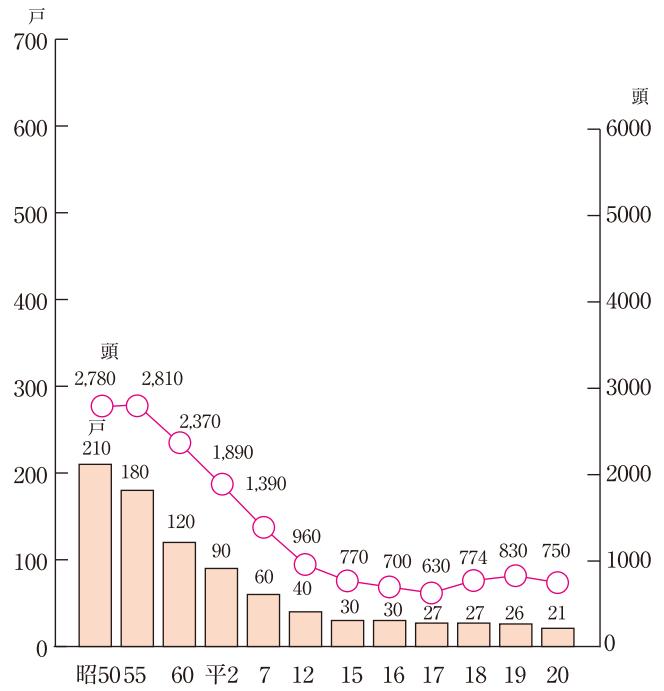
(農林水産統計年報)

家畜の飼養戸数及び飼養頭羽数の推移

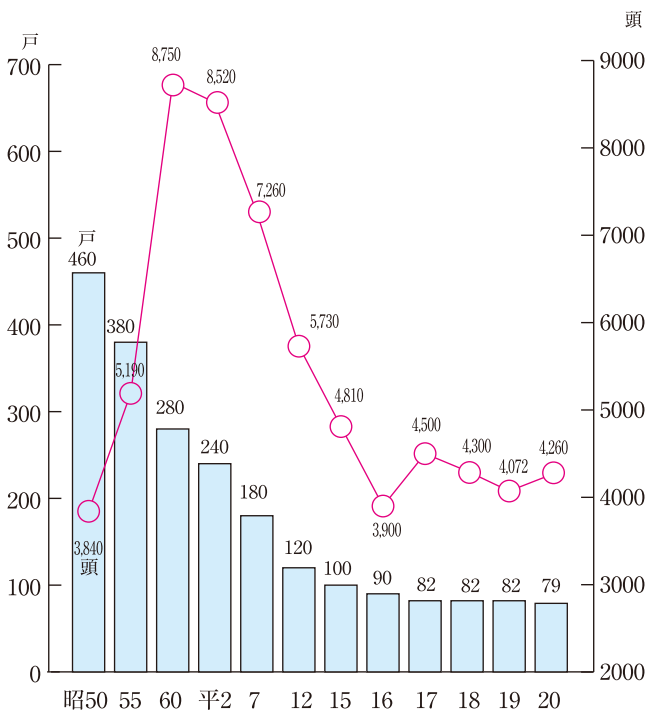
畜産農家は豚を除くすべての部門で前年に比べ減少しており、特に乳用牛とブロイラーで減少率が高い状況にある。また、飼育頭数は乳牛、肉用牛、豚ともに昭和50年代をピークに年々減少傾向にある。

採卵鶏の飼育羽数は昭和50年から平成20年にかけて変化は少ないが、統計調査の飼育戸数農家の対象の変化もあり（平成元年より300羽以上のみ、平成9年より1,000羽以上のみ、平成14年より種鶏農家除く）、平成2年以降飼育戸数が1/10になるとともに経営の大規模化が図られている。

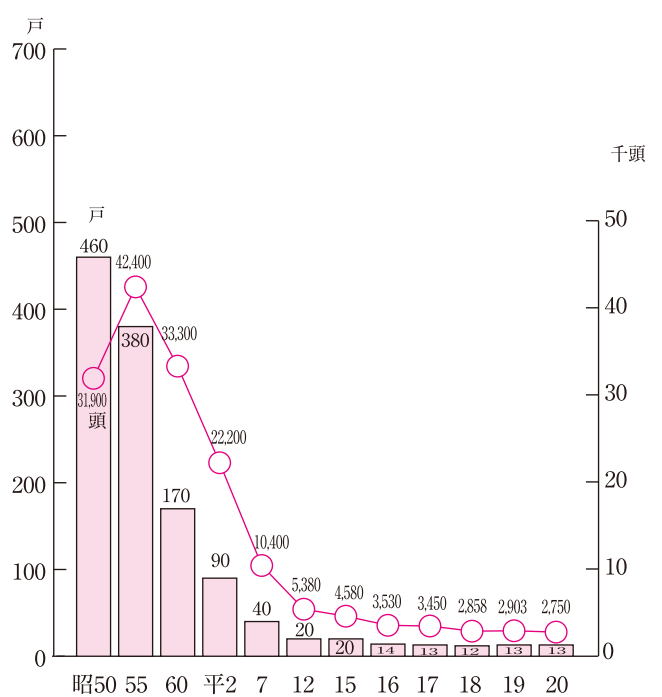
a 乳用牛



b 肉用牛



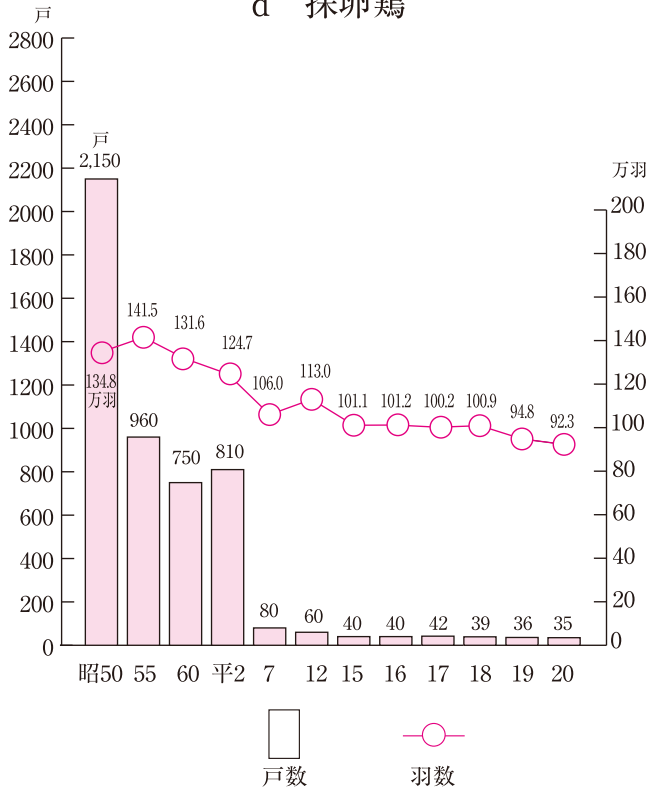
c 豚



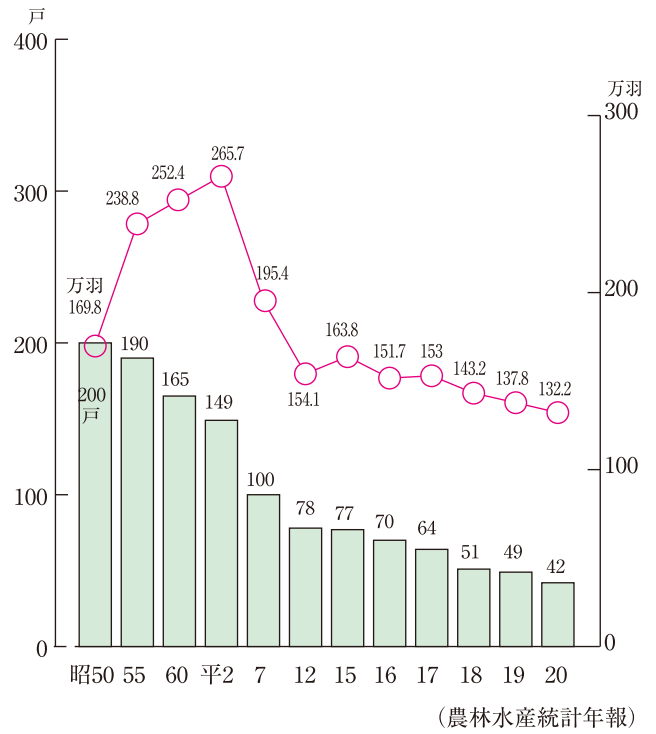
戸数
 頭数

(農林水産統計年報)

d 採卵鶏



e ブロイラー



(農林水産統計年報)

市町村別・家畜飼養頭羽数 (平20)

乳用牛 (750頭)	古座川町 246 32.8%	紀の川市 93 12.4%	海南市 92 12.3%	その他 319 42.5%
肉用牛 (4,260頭)	日高川町 850 20.0%	紀の川市 589 13.8%	新宮市 445 10.4%	その他 2,376 55.8%
豚 (2,750頭)	和歌山市 890 32.4%	かつらぎ町 761 27.7%	有田川町 401 14.6%	その他 698 25.3%
採卵鶏(成鶏めす) (723千羽)	橋本市 346 47.8%	紀の川市 120 16.6%	和歌山市 67 9.3%	その他 190 26.3%

(県畜産課業務資料)

家畜の飼養頭羽数・戸数

〔平20.2.1現在〕		全国 実数	和歌山県			1位 県名	2位 県名	3位 県名
			実数	順位	シェア(%)			
飼養頭羽数	乳用牛(頭)	1,533,000	750	47	0.1	北海道	栃木	岩手
	肉用牛(頭)	2,890,000	4,260	43	0.1	北海道	鹿児島	宮崎
	豚(頭)	9,745,000	2,750	47	0.1	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏(千羽)	181,664	932	38	0.5	千葉	茨城	愛知
飼養戸数(戸)	乳用牛	24,400	21	47	0.1	北海道	岩手	千葉
	肉用牛	80,400	79	42	0.1	鹿児島	宮崎	岩手
	豚	7,230	13	46	0.2	鹿児島	宮崎	茨城
	採卵鶏	3,300	35	32	1.0	愛知	鹿児島	千葉

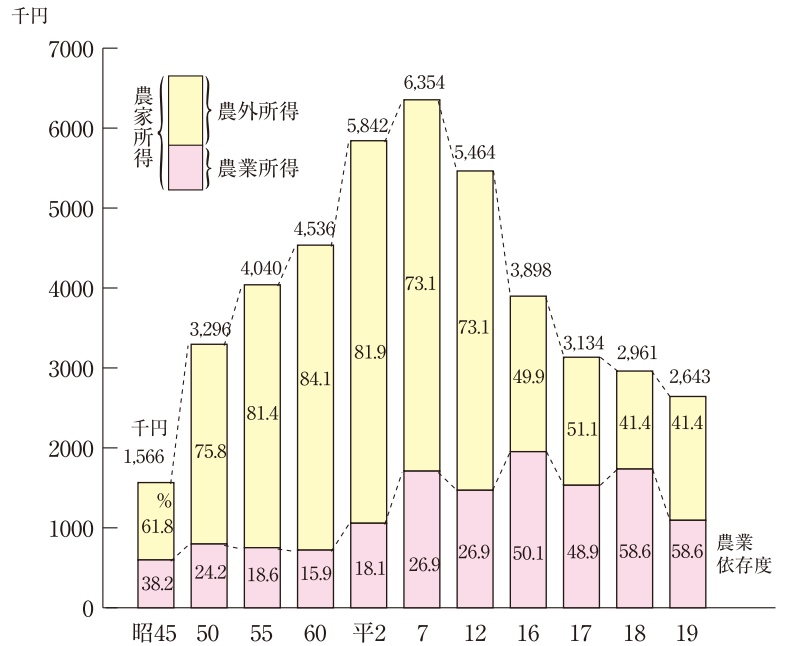
5) 農業所得と農業産出額

農業産出額はピークの平成3年で1,737億円となり、昭和45年に比べ3.0倍となっている。しかし、平成11年以降ピーク時の60～70%程度の産出額で推移している。

また、生産農業所得も同様の傾向で平成19年は430億円となり、農家所得の推移も平成8年をピークに減少傾向にある。

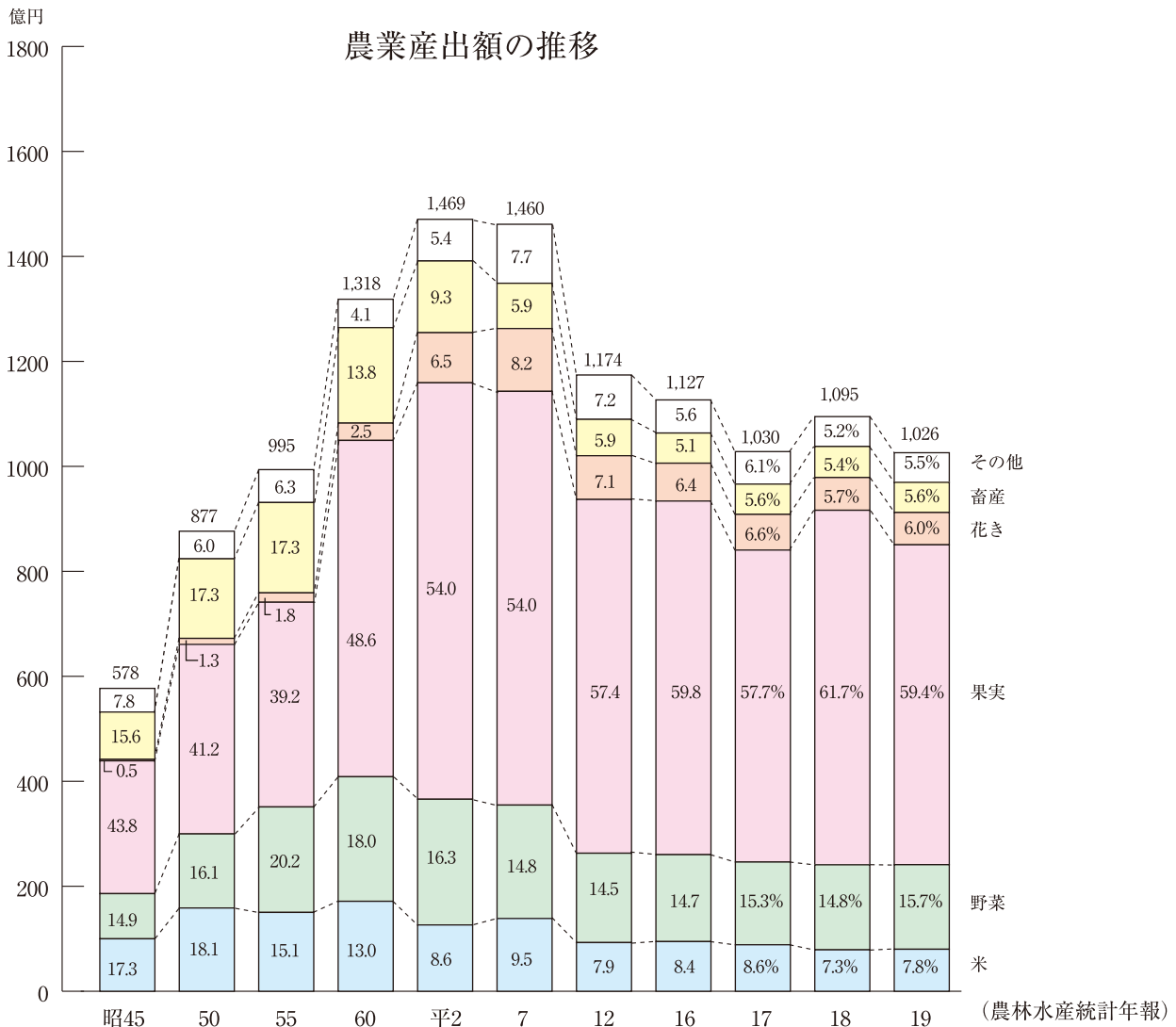
※本調査は、平成16年より調査対象及び調査内容が変更されていますので、ご利用の際はご注意ください。

農家所得の推移



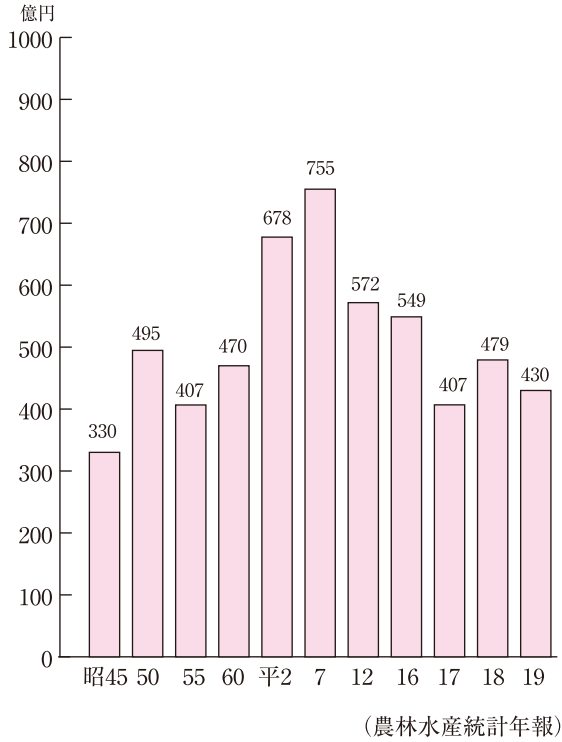
(農林水産統計年報)

農業産出額の推移

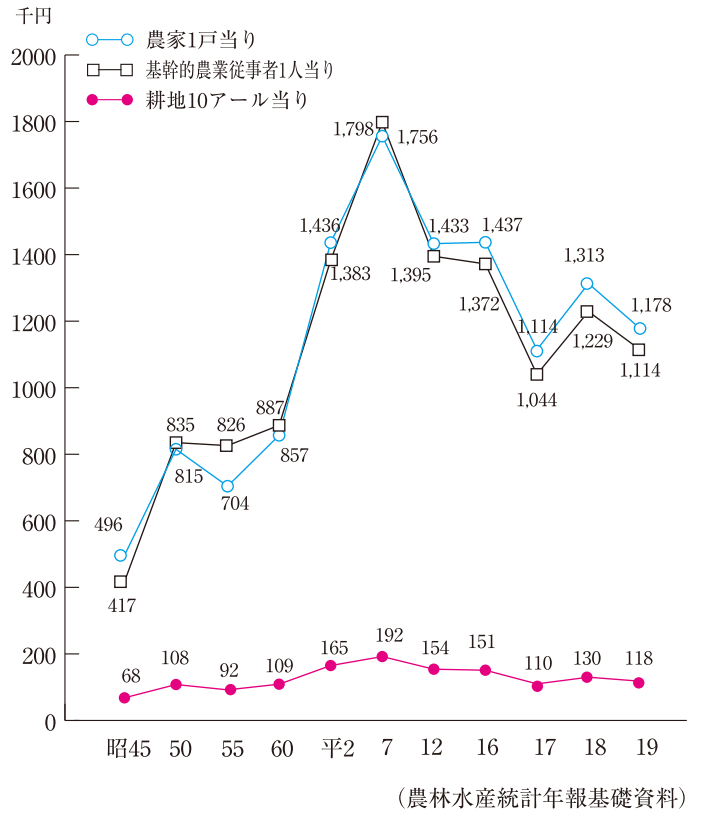


(農林水産統計年報)

生産農業所得（県計）の推移



生産農業所得（単位当り）の推移



市町村別・部門別農業産出額（平19）

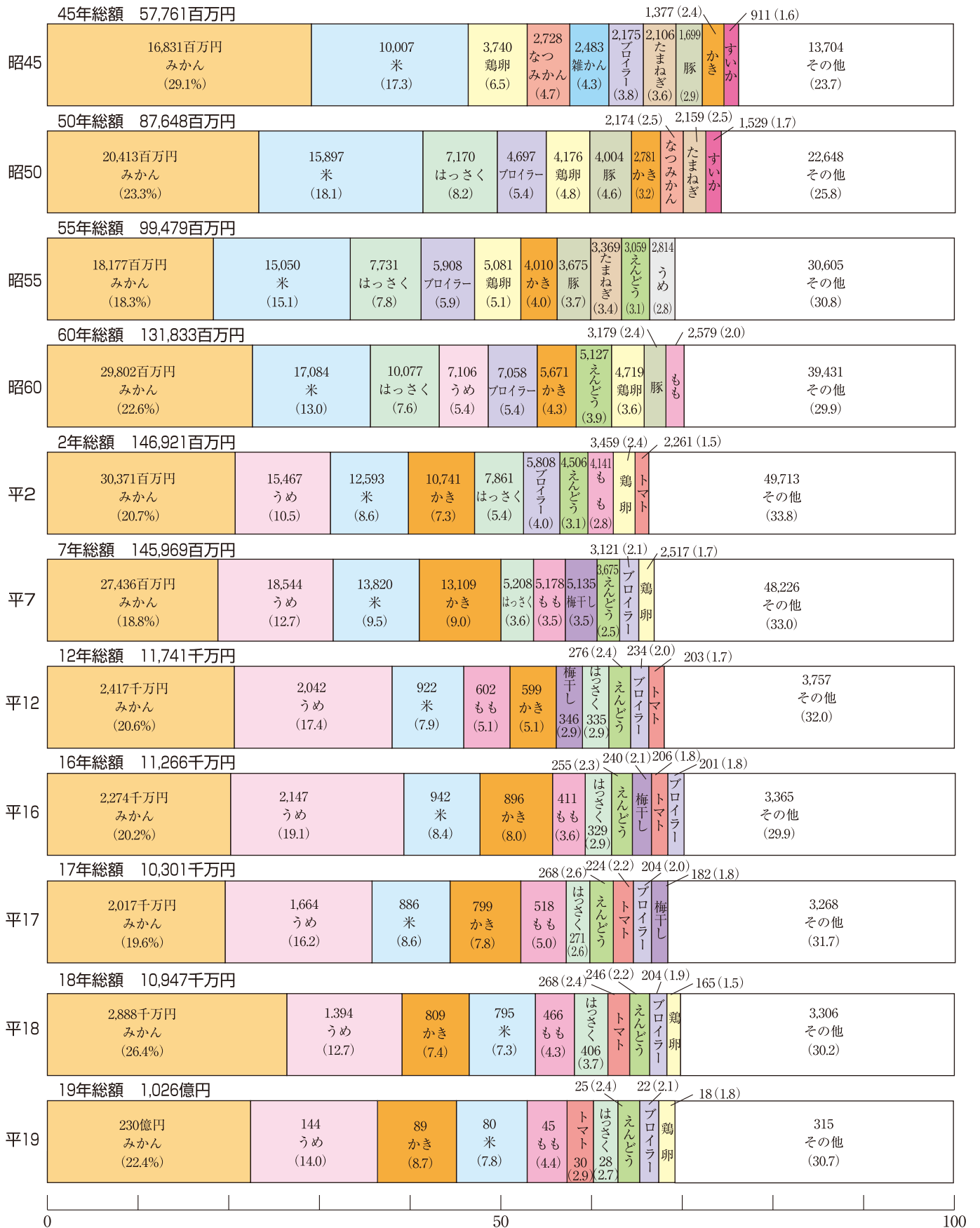
米 (799千万円)	和歌山市	紀の川市	橋本市	岩出市	日高町	その他
	190 23.8%	107 13.4%	51 6.4%	43 5.4%	40 5.0%	368 46.1%
野菜 (1,614千万円)	和歌山市	紀の川市	印南町	御坊市	日高町	その他
	445 27.6%	231 14.3%	193 12.0%	137 8.5%	75 4.6%	533 33.0%
果実 (6,099千万円)	紀の川市	有田川町	田辺市	海南市	みなべ町	その他
	1,129 18.5%	880 14.4%	623 10.2%	586 9.6%	565 9.3%	2,316 38.0%
花き (618千万円)	御坊市	印南町	紀の川市	有田川町	田辺市	その他
	215 34.8%	83 13.4%	81 13.1%	47 7.6%	31 5.0%	161 26.1%

0 50 100

(市町村別統計検討協議会調べ)

農産物産出額上位10品目の推移

農産物生産額を品目別にみると、「うめ」と「みかん」で全体の約36%を占めており、平成19年は1位みかん、2位うめ、3位かき、4位米、5位ももとなっている。



6) 農業農村整備事業の基盤整備状況

農業農村整備事業における基盤の整備状況は、畑の農道整備48.1%、かんがい施設整備29.5%、区画整理6.0%で田の区画整理は14.2%となっている。整備済みの農業水利施設については、本格的な保全対策を進めています。

1 畑（果樹園・普通畑）の整備状況

項目	年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18
畑 面 積 (ha)		24,600	24,500	24,700	25,200	25,400	25,300
農道整備済み面積 (ha)		11,937	11,937	11,936	12,164	12,167	12,175
	整備率 (%)	48.5	48.7	48.3	48.3	47.9	48.1
畑地かんがい施設整備済み面積 (ha)		7,269	7,269	7,269	7,499	7,495	7,501
	整備率 (%)	29.5	29.7	29.4	29.8	29.5	29.6
区画整理済み面積 (ha)		1,507	1,511	1,513	1,516	1,516	1,516
	整備率 (%)	6.1	6.2	6.1	6.0	6.0	6.0

- ・農道整備済みとは、末端農道が整備された畑
- ・畑地かんがい施設整備済みとは、スプリンクラー等の施設が整備されている畑、及び、水源が確保され必要に応じて散水が可能な畑
- ・区画整理には、農地造成を含む

2 田の整備状況

項目	年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18
田 面 積 (ha)		11,900	11,900	11,800	11,700	11,400	11,200
区画整理済み面積 (ha)		1,477	1,495	1,540	1,554	1,588	1,588
	整備率 (%)	12.4	12.6	13.1	13.3	13.9	14.2

- ・区画整理には、30a未満の小区画を含む。

3 土地改良施設の整備状況

項目	年度	H13	H14	H15	H16	H17	H18
農業水利施設延長 (km)		—	—	—	—	682	682
	保全対策済み延長	—	—	—	—	8	16
ため池の箇所数		5,566	5,566	5,566	5,566	5,566	5,566
	整備済み箇所数	931	949	984	1,014	1,051	1,090
	整備率 (%)	16.7	17	17.7	18.2	18.9	19.6
農業集落排水整備対象人口 (人)		102,701	65,195	67,102	64,019	63,388	62,742
	整備済み人口	28,682	29,930	35,257	35,833	40,857	41,045
	整備率 (%)	27.9	45.9	52.5	56.0	64.5	65.4
広域農道整備済み延長 (km)		61.9	61.9	64.6	64.6	64.6	65.8

- ・農業水利施設延長は、県営事業以上で造成された幹線施設延長
- ・広域農道の整備済み延長は供用開始済みの延長